GOD BLESSED VIDEO●ゴット・ブレスト・ヴィデオ

by S.Vai & G.Bonnet

Copyright © 1985 by DE NOVO MUSIC, SYVY MUSIC & STAR CARR MUSIC
Rights for Japan assigned to WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

《この曲のポイント》

■Guitar

曲の頭からラストまでギターはデジタル・ディレイをかけっぱなしだ。ディレイ・タイムを♪にセットしたシングル・ディレイで、ドライとディレイとを左右目一杯に広げてある。このような強力なエフェクト効果に加えて、一部ではハーモナイザーまで使っている。アイディアとしては誰でも思いつくことかも知れないが、ここまで徹底的に導入して使いこなしている例はちょっと無いだろう。この曲を演奏するにあたっては、どうしてもディレイが必要になってくる。デジタルがベストだが、アナログでもほぼ同様の雰囲気は再現できるだろう。いずれにしろドライとディレイはステレオにして左右に振り分けないと効果が半減してしまうので、ステレオ・アウトできるタイプのものを用意したい。バッキングのリフに至るまでライト・ハンド奏法を用いた部分が非常に多いので、かなりよいトレーニングになるだろう。

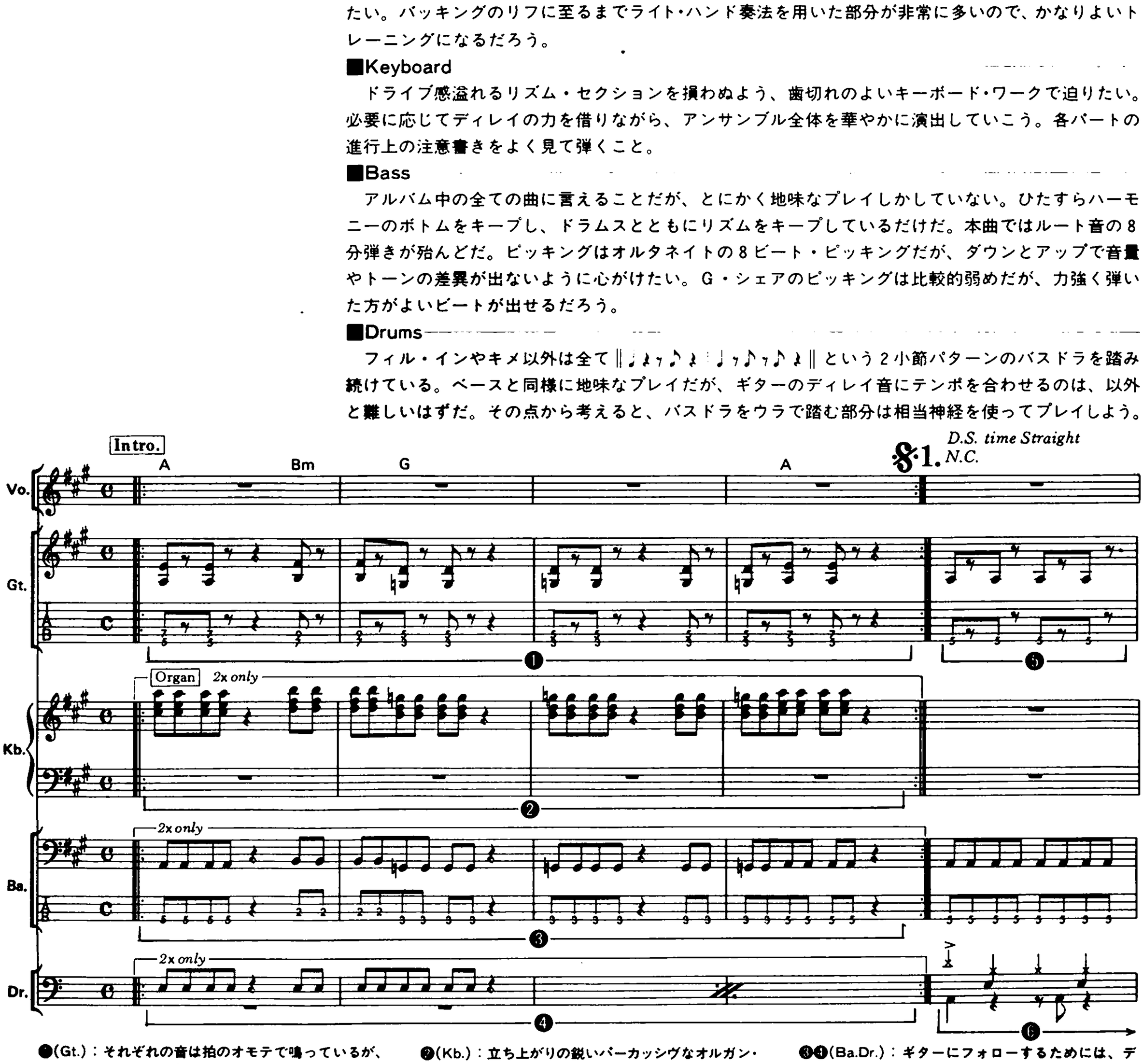
■Keyboard

ドライブ感溢れるリズム・セクションを損わぬよう、歯切れのよいキーボード・ワークで迫りたい。必要に応じてディレイの力を借りながら、アンサンブル全体を華やかに演出していこう。各パートの進行上の注意書きをよく見て弾くこと。

■Bass

アルバム中の全ての曲に言えることだが、とにかく地味なプレイしかしていない。ひたすらハーモニーのボトムをキープし、ドラムスとともにリズムをキープしているだけだ。本曲ではルート音の8分弾きが殆んどだ。ピッキングはオルタネイトの8ビート・ピッキングだが、ダウンとアップで音量やトーンの差異が出ないように心がけたい。G・シェアのピッキングは比較的弱めだが、力強く弾いた方がよいビートが出せるだろう。

■Drums

フィル・インやキメ以外は全て‖𝅘𝅥𝅮𝄽𝅘𝅥𝅯𝄾𝅘𝅥𝅯𝄽𝅘𝅥𝅮 | 𝅘𝅥𝅮𝄾𝅘𝅥𝅯𝄽𝅘𝅥𝅯𝄽𝅘𝅥𝅮‖という2小節パターンのバスドラを踏み続けている。ベースと同様に地味なプレイだが、ギターのディレイ音にテンポを合わせるのは、以外と難しいはずだ。その点から考えると、バスドラをウラで踏む部分は相当神経を使ってプレイしよう。

❶(Gt.)：それぞれの音は拍のオモテで鳴っているが、ディレイ・タイム＝♪のシングル・ディレイが鳴っているため、ドライとディレイとで、結局他のパートと同じリズム・パターンになる。

❷(Kb.)：立ち上がりの鋭いパーカッシヴなオルガン・サウンド。テンポが速いだけに、この通り弾くのは大変だが、和音を両手でつかむとか、拍ウラをディレイ処理で鳴らすといった工夫で、ビシッとタイトにキメよう。

❸❹(Ba.Dr.)：ギターにフォローするためには、ディレイ・タイムとテンポの関係を完全にしなくてはならない。あらかじめ計算しておくか、1回目のギターのみのプレイで把握しなければならない。

N.C.

Va.

Gt.

gva

D.S.time

D.S.time

7

Kb.

Ba.

Dr.

6

A A

Let's take a plane and go some - where ex
cheep kid from Bir - ming - ham blessed with an
Break out the cam - era's that re - shape my

g

mute

mute

g

8

E.Piano D.S.1.time only

9

Strings 2x only

Strings D.S.1.time only

●(Gt.)：ディレイ音が8分休符の所で出てくるので、それをはっきりさせるため一音一音をミュートしなければならない。これは❶においても同様だ。
●(Dr.)：バスドラの2小節パターンを覚えてしまおう。フィルインとキメ以外は、最後までこの2小節パターンをキープしているのだ。

❼(Gt.)：四角い音符の玉はハーモニクスの音を表わしている。フレットの真上で、左手の指を弦に軽く触れてピッキングする。

❽(Kb.)：エレピまたは❷のオルガンを使う。実際にプレイするのは各和音の頭拍だけにして、( )内の音はディレイ処理で自動的に鳴らすようにするとよいだろう。
❾(Kb.)：サウンドは"ストリングス＋パイプ・オルガン"のイメージで軽くコーラス効果を加えるとよいだろう。

A

Vo.

- ot - ic ___ to play with ___ a non - de - script song ___
ac - cent ___ that pours like ___ the dark - est ___ brown ale ___
face and ___ ___ get some - one ___ ___ to carve up ___ my hair ___

3

Gt.

mute

g

mute

g

Kb.

Ba.

Dr.

>

Vo.

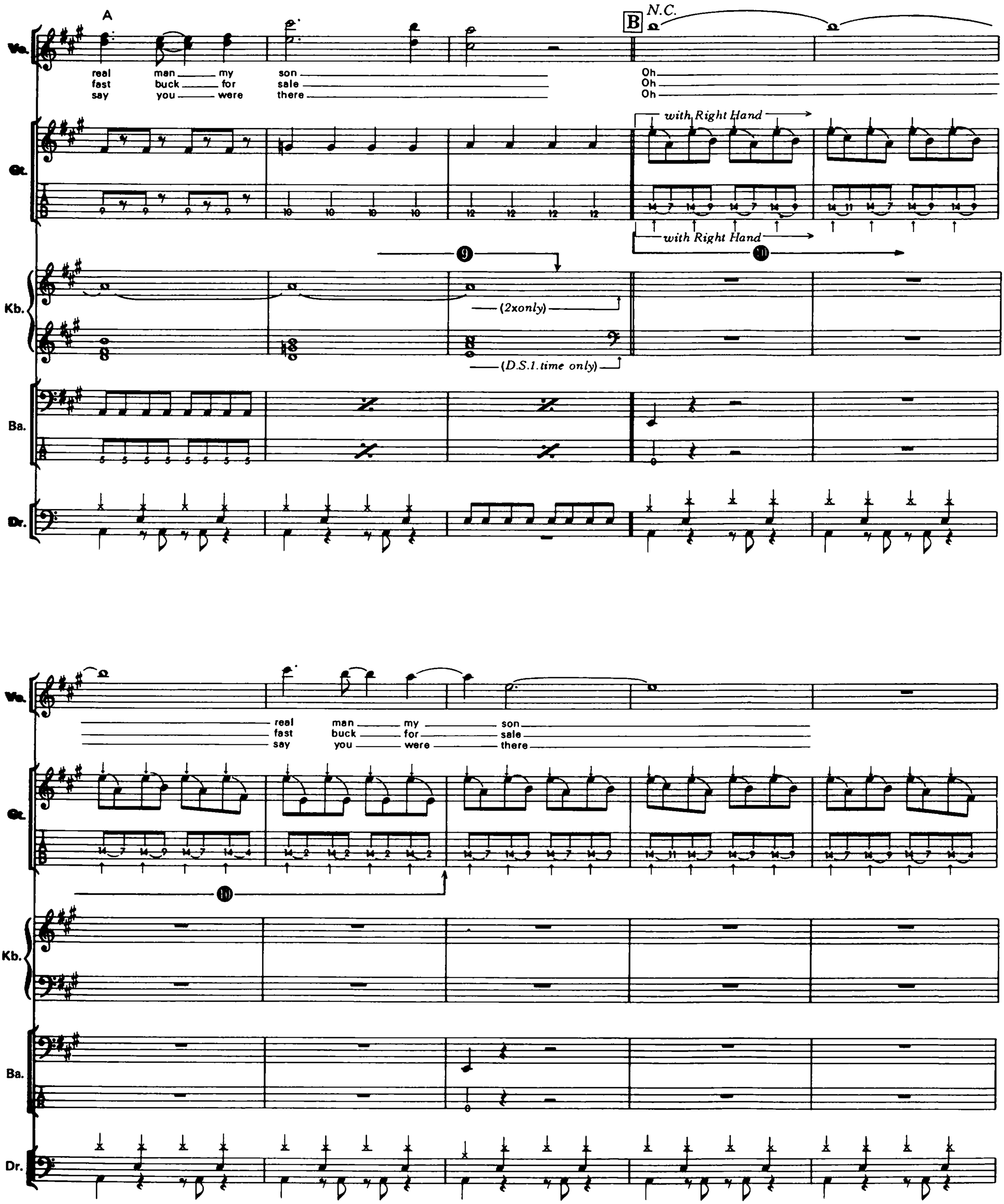
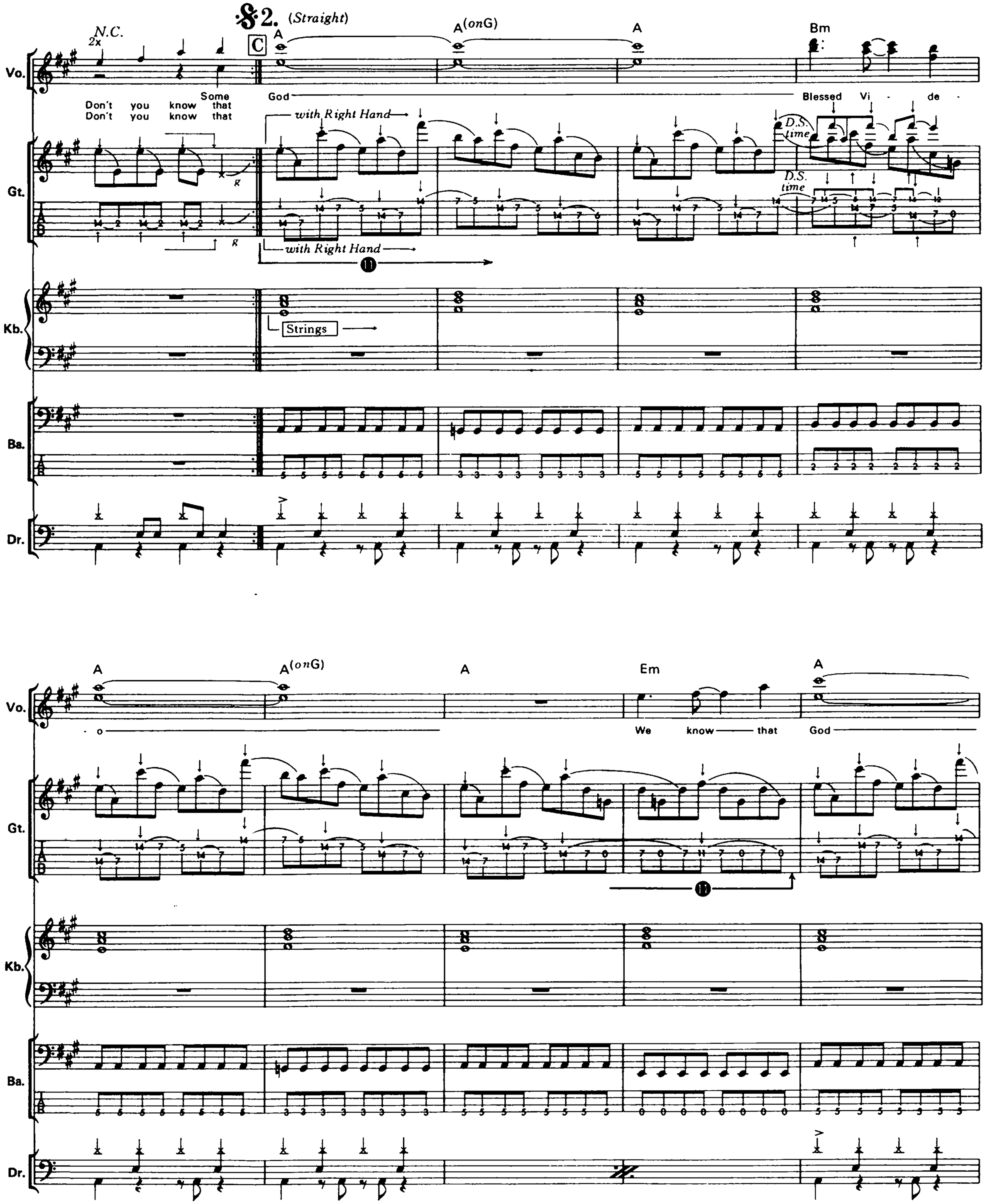
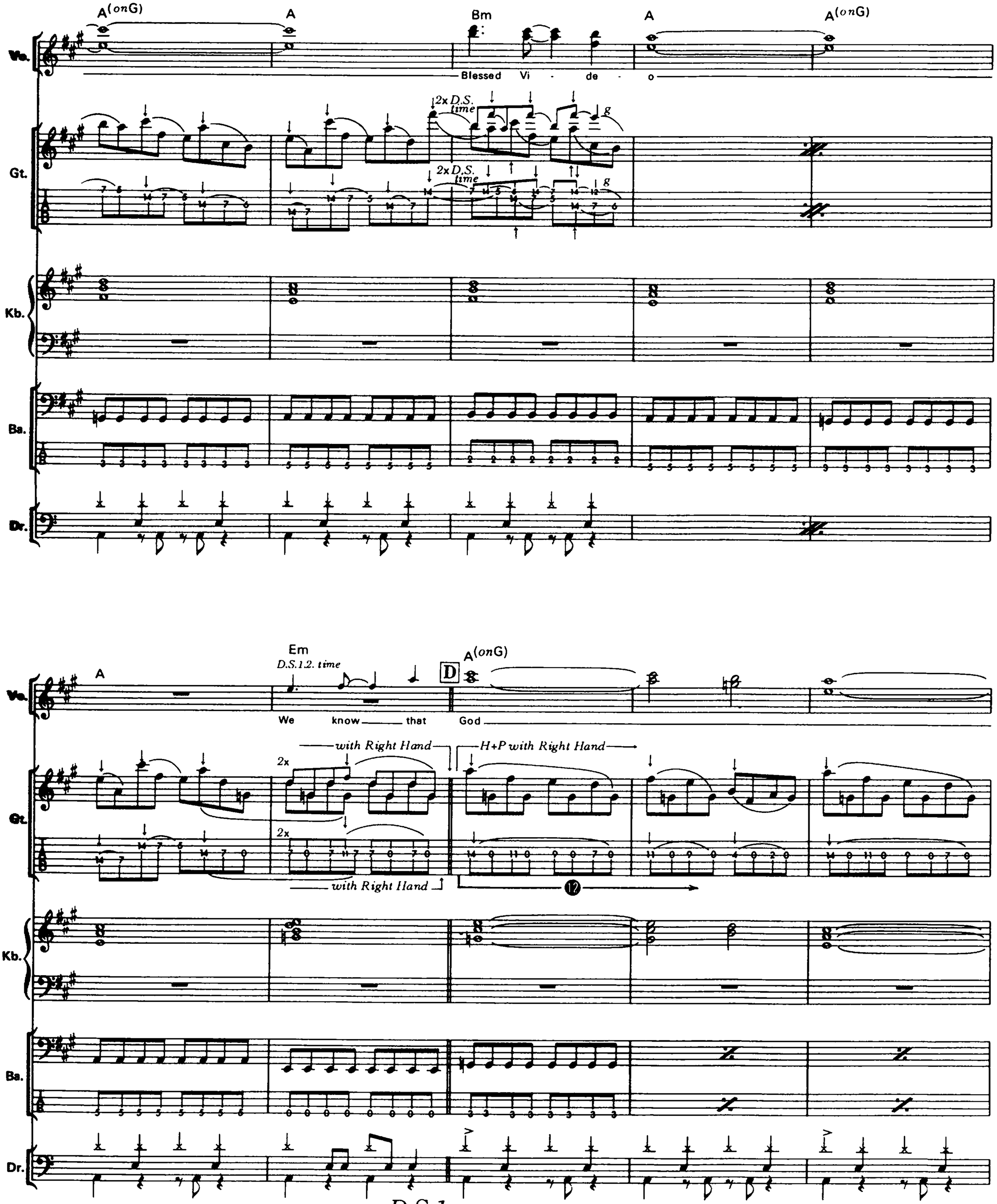
Shoot all ___ the crotch shots ___ for twelve - year ___ old hope - fuls ___ to make you ___ a
Just one ___ more pup - pet ___ piss el - e - gant mari - o - nette He's just ___ a
If you ___ can't beat them ___ you might as ___ well join 'em ___ and be glad ___ to

Gt.

mute

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：右手の指で$\frac{1}{4}$をタッピング、$\frac{1}{1}$～$\frac{1}{2}$は左手の指で押弦する。ライト・ハンド奏法の基本的なテクニックだが、ディレイ音にまどわされずに弾くのは相当練習と慣れが必要だ。

●(Gt.)：ライト・ハンドを用いた8小節パターンのリフだが、1～4弦を用いて4、2、3、1、2、3弦の順で弾き、タッピングのリズムも♩.♪♪♪♩♪♪♪♩♪♪♪♩

●(Gt.)：開放弦へのプリング（開放弦からのハンマリング）を利用した4小節のリフだ。このくらいのフレーズなら左手だけでも弾けるのだが、↓印で示した部分でライト・ハンドを用いている。

A(onG)

to ⊕

Vo.

Blessed

Vi - de -

H+P with Right Hand

Gt.

H+P with Right Hand

12

Kb.

Strings

Ba.

Dr.

E A Bm G A Aadd9 Bmadd9

Vo.

o

Gt.

Kb.

Organ

Ba.

Dr.

Bmadd9 Gadd9

F N.C.

Vo.

Gt.

arm

8va Bassa

arm

Kb.

Organ

Ba.

Dr.

Vo.

(arm)

Gt.

(arm)

Kb.

Ba.

Dr.

N.C.

Vo.

Gt.

8va

arm vib

g+arm

arm

8va Bassa

arm vib

g+arm

arm

arm

g+arm

arm

arm

g+arm

Kb.

Ba.

Dr.

Em7

8va

Gt.-II

G

Gt.-III

Vo.

cho+arm

arm

cho+arm

arm

8va

cho+arm

arm

cho+arm

arm

arm

Gt.

Kb.

Synth.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：アーミングやチョーキングを多用したトリッキーなフレーズだが、ピッチの変化の具合からすると2弦を用いていると思われる。

●(Gt.)：3/22、3/22を押弦し、アームを目一杯引張ったプレイだ。

●(Gt.)：オクターヴ奏法によるプレイ。ロックのギタリストにしては多用している方だが、ポジション移動のなめらかな感じは独特だ。

Em7 C 1. G G♯

Vo. Gt. Kb. Ba. Dr.

A (8va) E 2. Bm G F

Vo. Gt. Kb. Ba. Dr.

●(Kb.)：ギター・ソロのサポート的役割りを受け持つところだ。スチール・ギターのような伸びのある、ポルタメントの効いた音作りをしよう。

G

1.2.3.

4.

(8va)

H N.C. ~

Vo.

Don't you know that

with Harmonize

3x

3x

Gt.

15

17

1x

Kb.

18 Synth.

1x only

1x only

Ba.

1x (>)

Dr.

D.S.2.
al Coda

Coda

Aadd9

Bmadd9

Gadd9

Aadd9

Vo.

Gt.

Organ

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：●と同じリフなのだが、ハーモナイザーを
使って4度上の音を重ねている。

MERCY ●マーシー

by S. Vai, G. Bonnet, J. Waldo, G. Shea & J. Uvena

Copyright © 1985 by DE NOVO MUSIC, SYVY MUSIC, STAR CARR MUSIC, GODZILLA MUSIC, BLUE TIGER MUSIC & JAN LACKA MUSIC
Rights for Japan assigned to WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

《この曲のポイント》

■Guitar

さらっと聴き流しているとそれ程難しい演奏はしていないように聴こえるが、聴き込めば聴き込むほど細かい所で凝っているのがわかるはずだ。一度譜面を見ながらラフに弾いてみてから、もう一度聴き直せばその物凄さがわかると思う。リフの方は、ひとつひとつの音をはっきりと出し、休符の部分を完全に休むことに専念すれば形にはなると思うが、アドリブ・ソロに関して(特にFでの速弾き)は一朝一夕ではとても形にならないだろう。

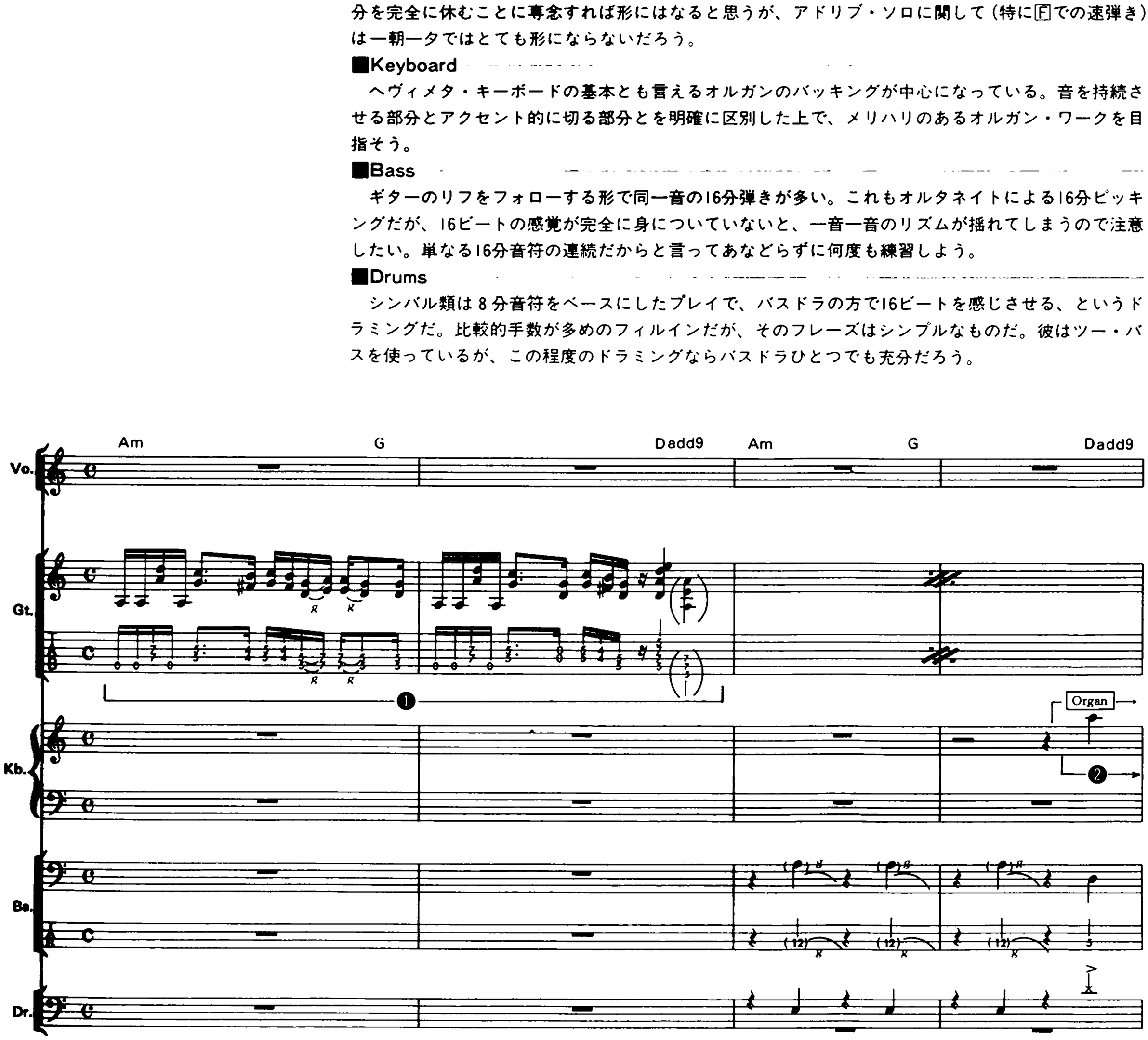
■Keyboard

ヘヴィメタ・キーボードの基本とも言えるオルガンのバッキングが中心になっている。音を持続させる部分とアクセント的に切る部分とを明確に区別した上で、メリハリのあるオルガン・ワークを目指そう。

■Bass

ギターのリフをフォローする形で同一音の16分弾きが多い。これもオルタネイトによる16分ピッキングだが、16ビートの感覚が完全に身についていないと、一音一音のリズムが揺れてしまうので注意したい。単なる16分音符の連続だからと言ってあなどらずに何度も練習しよう。

■Drums

シンバル類は8分音符をベースにしたプレイで、バスドラの方で16ビートを感じさせる、というドラミングだ。比較的手数が多めのフィルインだが、そのフレーズはシンプルなものだ。彼はツー・バスを使っているが、この程度のドラミングならバスドラひとつでも充分だろう。

●(Gt.)：5弦開放のA音と、3・4弦、4・5弦による2音の和音とから組み立てられたリフ。ロックのリフの組み立て方としてはオーソドックスなものだが、グリッサンドのニュアンスやDのコード(正しくはDadd9(omit3))のフォーム等がスティーヴらしいところだ。

❷(Kb.)：ハモンド系のオーソドックスなオルガン・サウンド。倍音構成豊かな音作りで。

Am G Dadd9 Am G Dadd9

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

3

4

A

Am C Am Em Am C

2x

D.S. x

Sis · ter moon and broth · er sun shin · ing down on my In · dia spread · ing your night a · cross the ground
Great ___ white ___ war · ri · or ___ you are the lone · ly hunt · er kill · ing the Prince of In · dia ___
Chand ba · hen ar su · raj bhy shin · ing down on my In · dia Cha · mak · ta hey ma · na ba · rat ka up · ar

arm

5

2

D.S. time only →

6

●(Ba.)：オルタネイトの16ビート・ピッキングによるプレイだ。気を入れて正確で力強いプレイをしよう。1小節目4拍目のバスドラとのユニゾンは特に注意。

❸(Dr.)：イントロのリフは、C、D、E、Hでも出てくるが、それらの部分でもドラムスは、この2小節パターンを基本にしたプレイを展開している。バスドラのタンやタンのタイミングには充分注意しよう。

●(Gt.)：2小節パターンのバッキング・リフだが、1/5、2/5の和音を用いた点やCのコード(これも正しくはCadd9(omit3))のフォームが彼らしいところだ。

❶(Dr.)：ベースやギターにも言えることだが、タンタンタンのリズムのとり方がポイント。ややもすると詰め込みぎみの軽いリズムになりがちなので、全員でヘヴィなノリが出るタイミングを追求すること。

Am Em F△7 E F△7

Vo. guid · ing the ex · e · cu · tion · er kill-ing the King of Af · rica guid · ing the lone · ly pre · dictor Ti · ger burn · ing bright · ly Cry · ing tears of

Gt. gva drm D.S.x 2x g D.S.x arm g 2x g

Kb. 2x only D.S. x tacet D.S. x only

Ba.

Dr. 2x

G to Coda Am G Am Dadd9 Am G Am D

Vo. fire Mer · cy Mer · cy Mer · cy

Gt.

Kb.

Ba.

Dr. D.S.

●(Gt.)：ダル・セーニョ後のみプレイ。このようなリフにハーモニクスやアーミングのトリッキーな音を絡ませるのも彼の特徴だ。

●(Gt.)：6弦は右手の腹でブリッジ近くをミュートし、ピッキング時のアタックの音がくっきりと出るように。

❾(Kb.)：❽のオルガンにレスリー風効果を加え、ヴォリューム・ペダルを踏み込む。休符を正確にとり、タイトにまとめよう。

●(Ba.)：同じ16分音符の連続でも、ここはギターとユニゾンになるので、わずかなズレも許されない。

●(Dr.)：1・3拍のギターとベースの𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯に対し、バスドラは最初と最後だけ合わせた𝅘𝅥𝅯𝅭にすることでサウンドを引き締めている。

Coda

D

Am G Am Dadd9 Am G Am D

Vo. Mer · cy — He's my broth · er Mer · cy tears of fire

Gt. 8va h+p cho cho

Kb. Synth. 1

Ba.

Dr.

12

Am G Am Dadd9 Am G Am Dadd9

Vo. Mer · cy — He's my broth · er Mer · cy tears of fire Ah — Ah — Oh

Gt.

Kb. Synth. 1

Ba.

Dr.

●(Kb.)：コーラス・パートのサポート、または代用。
ヒューマン・ボイスがベストだが、オルガンでも構わないだろう。

Dadd9

Vo.

Burn · ing bright·ly Ah cry · ing Ah tears of Ah fire

Gt.

arm

arm

Kb.

Ba.

Dr.

Am

Vocal

E

Gt.

G

Am

Dadd9

Vo.

8va

cho cho cho cho+p cho

cho p g p g p g p h

10 5

Gt.

cho cho cho cho+p cho

cho p g p g p g p g g

10 5

13

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：↓印はライト・ハンドによるタッピングだが、2～4回目のタッピングは1/16をタッピングの直後1/20にグリッサンドさせている。これをタイミングよくキメるのは至難の技なので何回も練習しよう。

Am G Am Dadd9 Am G

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

Am Dadd9 Am G Am Dadd9

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：Arm. Vib※とあるのは、いわゆるクリケット奏法。B・ギルスが得意とする技だ。これはフロイド・ローズのアームをブラブラ揺れないように固定し、ピッキングと同時にアームに中指等を当てることで得られるヴィブラートだ。

●(Gt.)：前の小節の音から にハンマリングしながらアーム・ダウン、後はハンマリング＋プリングで音をつなぎ、そのつどアーミングする訳だ。

●(Gt.)：何とも恐ろしいスピードのパッセージだが、プリングで音をつないでいるので右手はそれ程きつくないだろう。23：2は2拍のスペースに23個の音が入るという意味だ。1拍12連が少しモタッたと思ってよい。

●(Gt.)：ここは全てピッキングしているようだ。ハーモナイザーをかけた上にハモリのフレーズもダビングしているようだが、スコアにはメインのラインのみ記した。

G Am Dadd9 Am D

Vo. Burn · ing ti · ger burn · ing

Gt. (cho) cho (8va) arm arm

Synth. II

Kb.

Ba.

Dr.

1.

Am G Am Dadd9 Am 2x G Am Dadd9

H Vocal Fill Vocal Fill

Vo. Mer · cy Cry · ing tears of fire Mer · cy

Gt. 2x 8va 8va arm arm

Synth. I

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：3/4の音をピッキングし、アーム・アップしたものだが、ピッキング・ハーモニクスが強く出ているので ◆ で示した。

2. Am

Dadd9

Cadd9

F

Vo.

Ah
Tears of fire

Ah

Gt.

Kb.

Synth. I

Synth. II

Ba.

Dr.

~Fill~

~Fill~

~Fill~

Free Tempo

G

Am

Vo.

Fire — Tears of fire

Gt.

feed back arm arm

feed back arm arm

arm

arm

arm

cho

Kb.

Organ

Synth. II

Ba.

Dr.

~Fill~

~Fill~

●(Kb.)：サウンドはブラスまたはオルガン系の音にモジュレーションをかけるとよい。ポルタメントを多少加味すると効果的だ。

●(Gt.)：2～6弦のコードのフェルマータで、3弦がフィード・バックして2オクターヴ上の音が出たため、アーム・アップした後アーム・ダウンした訳だ。

●(Kb.)：できればストリングス系の音も●に同期させたい。リバーブを派手目にかけ、華やかな雰囲気を出そう。

WIRE AND WOOD・ワイアー・アンド・ウッド

by S. Vai & G. Bonnet

Copyright © 1985 by DE NOVO MUSIC, SYVY MUSIC & STAR CARR MUSIC
Rights for Japan assigned to WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

《この曲のポイント》

■Guitar

アップ・テンポのストレートなナンバーで、ギター・プレイもそれ程シカケは多くないが、Bの部分である音をホールドしたままずっと鳴らし続けておくというサウンド・メイキングをしている。ホールドのできるデジタル・ディレイがあればそれでOKだが、スイッチングのタイミングが意外に難しい。デジタル・ディレイのホールドの代わりにフィード・バックを使うというのもひとつの手だ。ギター・ソロはそれ程難しくないが、かえってバッキングのリフの方がバンドとしてカッコいいので、アップ・テンポにスムーズにのせるようにしたい。

■Keyboard

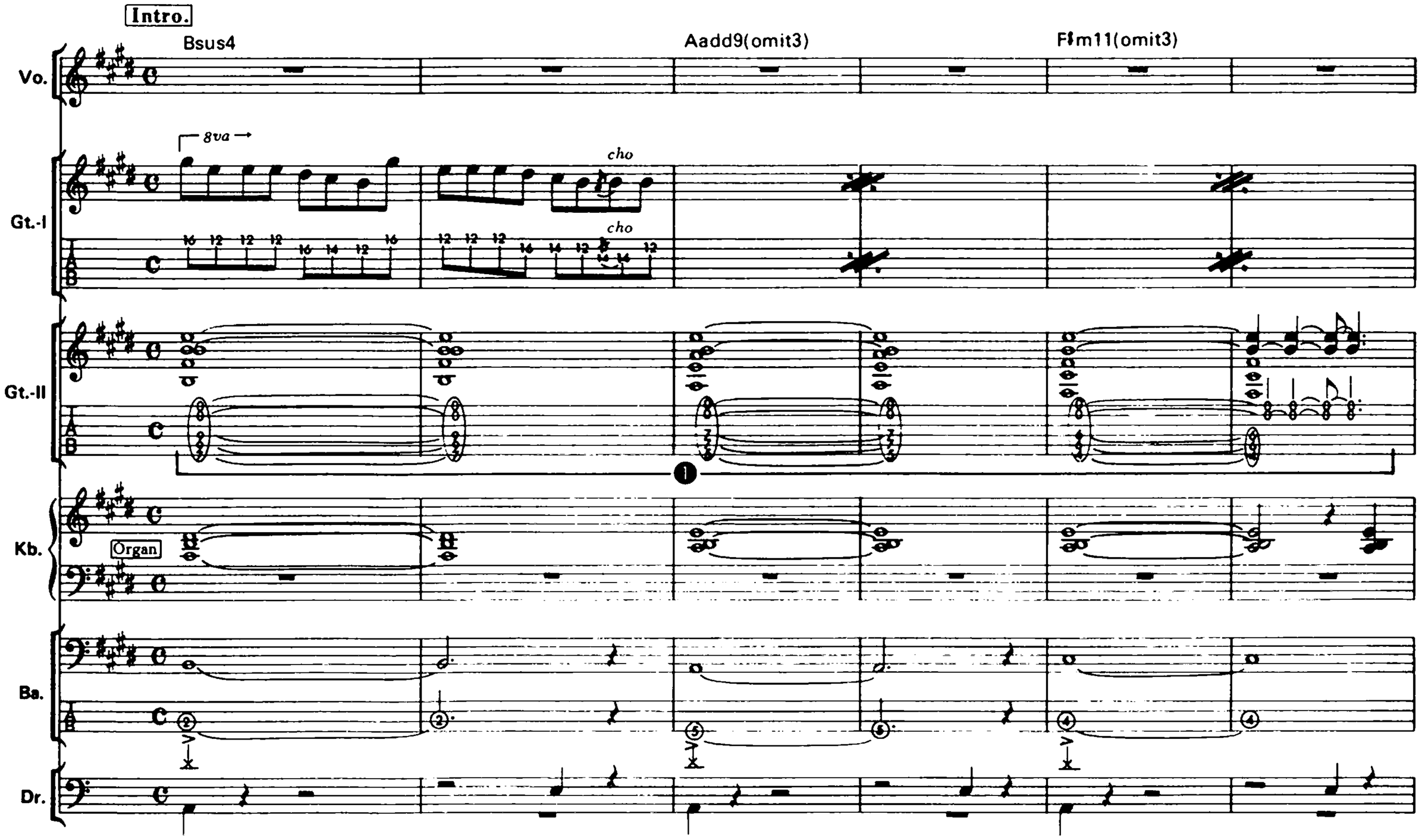
全編オルガン中心のシンプルなバッキングになっている。ハモンド風の迫力あるサウンドで、ドライブ感溢れるこの曲を華やかに盛り立てたい。リズム・バッキング部ではとりわけ休符に注意して、パーカッシヴにプレイするように。

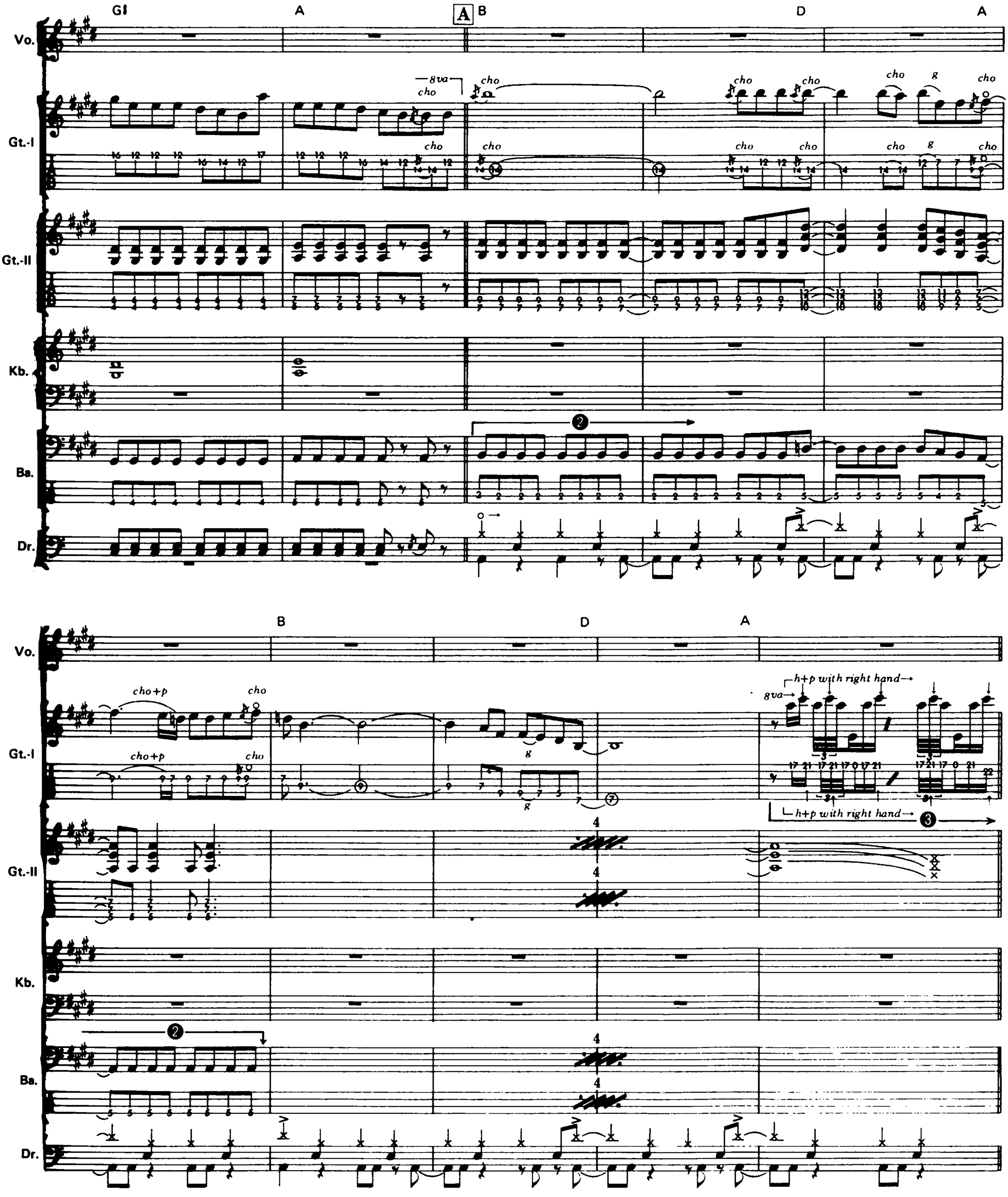
■Bass

全体を通してほとんどがギターのリフとユニゾンになっている。一見簡単そうに見えるが、曲が終るまでビシっとユニゾンで行くのは非常に難しいことなのでバンド全体でよく練習すること。サウンドは、重厚感を出すためにず太く、かつクリアなセッティングにしよう。

■Drums

ロック・ドラムの定石通りとも言えるほどにオーソドックス、かつシンプルなプレイだ。もともとパワーや勢いよりも頭で叩くドラマーのようだ。ドライブ感を必要とするこのようなアップ・テンポのナンバーでも、頭を使ってソツなくドライブしているようだ。しかし、ここは勢いでノって叩こう。



❶(Gt.)：4～6弦を押弦し、1・2弦の開放を同時に鳴らすというコード・フォームの連続だ。3弦を完全にミュートすることがポイントだ。

❷(Ba.)：8分でクっている箇所がドライブ感を出しているので、1音1音メリハリをつけてしっかり弾くこと。

❸(Gt.)：何とも奇妙なフィルインだが、ライト・ハンドを用いたものらしい。Bにはいってからの$^{2}_{21}$のチョーキング音をBのラストまでホールドする。

B F♯

Vo. Down the street a snake of leath-er slide-ing off to war Out to fight the bat-tle with the boys

Gt.-I cho → hold ~ (8va)

cho → hold ~

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

Vo. up-on the boards Up a-gainst the dis-ci-ples with thier backs up to the walls

Crushed a-gainst the bar-ri-cades worked up to a rage

F♯ 2x

Gt.-I 8va 2x hold → •

2x hold →

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

❹(Gt.)：4度重ねの2音から成るリフ。スモーク・オン・ザ・ウォーターと同様のリフだが、低音弦の方が大きすぎるとカッコがつかないので弦の音量バランスに注意。

❺(Ba.)：ギターのリフと完全にユニゾンになっている。バスドラの頭2発打ちも含めて、3人でしっかり合わせるようにしよう。

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

F

They don't care 'cos they can take the blast They're just out to bust thier balls
How hot it to get and how the leath · er sweats as they reach to (the) claw the stage

2x hold →

2x hold →

cho p

cho p

5

C A B A B D (on A)

In the a · re · na the bat · tle be · gins They're eye to

Gt.-II 2x

Gt.-II 2x

6

2x

2x

(Kb.)：譜面通りでなくてもよいから、とにかくこ
手のアルペジオを思い切り速く弾くこと。各指を
立させて、歯切れよいタッチでプレイ。

D.S.time Straight

E(onB) A 2x B

Vo. eye face ___ to face (1.2.) They come back to feel (3.) ___

Gt.-I

Gt.-II

Kb. ❻ ❼

Ba.

Dr. 2x

D A B 3x D

Vo. ___ the smack from The Wire ___ And The Wood ___ (3x) In The Wire ___ And The Wood ___ Pack that slap don't take ___ no crap ___ from The Wire

Gt.-I 2x Gt.-II 2x Gt.-II

Gt.-II

Kb. ❼

Ba.

Dr.

❼(Kb.)：くり返し2回目、及びD.S.後には、この部分にのみ上声D♯音を加えること。

D 2x (A) B D A

Vo. And The Wood (Ooh) They come back to feel the smack from The Wire And The Wood

Gt.-I *p* 2x Gt.-II *with harm.*

Gt.-II *cho cho p* *g*

Kb.

Ba.

Dr.

to B D A

Vo. Pack the slap don't take no crap from The Wire And The Wood Ooh

D.S. time Gt.-II

Gt.-I

Gt.-II *arm*

Kb. 4

Ba. 4

Dr.

E

Fl

Vo.

Gt.-I

8va

cho

arm

h+p

p

p+g

g

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

❽(Gt.)：ちょっとアラン・ホールズワースを思わせるフレージングだ。プリングやグリッサンドを使って音をつないでいる。

❾(Gt.)：3/9を右手の指でタッピングし続けて、左手の方を動かしていくというタイプのライト・ハンド奏法だ。フィンガー・ボード上の音を横方向にも把握していないと、このようにスムーズにはいかない。

●(Gt.)：グリッサンドを多用し多くの音をつないでいる。このグリッサンドの多用は、アラン・ホールズワースの影響はあるにせよ、そのニュアンスはスティーヴ独自のものだと言えよう。

Vo.
Gt.-I
Gt.-II
Kb.
Ba.
Dr.

G B A B A B

cho cho cho

In an hour or two

g g

N.C. A B

Bat - tle will be done

⑪ ⑫ ⑬ ⑬

●(Dr.)：いわゆるハーフ・タイムのパターン。つまり今までの2小節分を1小節と感じてプレイする。

●(Ba.)：ロング・トーンの終りに2拍、キメが入っている。この8分音符をしっかり弾くことによって次の2小節の休符が生き、曲にメリハリをつけているので、しっかり弾くこと。

●●(Gt.)：ギター2本の音の積み重ね方がとても不思議なサウンドを作り出している。

B F♯m11(omit3) B A B N.C.

Vo. No one leav - ing in de - feat Both sides hav - ing

Gt.-I 8va arm arm arm arm

Gt.-II arm arm arm arm arm g g

Kb.

Ba.

Dr.

A B A

Vo. won Blind - ed by the silence

Gt.-I

Gt.-II p g p g p g

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：2/4、3/4のハーモニクスを出した後アーム・ダウンする。他のパートが休んでいるだけにこの効果は絶大だ。ここのギターは、失敗は許されないので気合いを入れて弾くこと。

Vo.
Gt.-I
Gt.-II
Kb.
Ba.
Dr.

A B A B

G A

call - ing them back home

g

D.S.

Coda

H B

pack the slap hard the crap

D A

Wire And The Wood

⑰(Dr.)：8分の7拍子と4分の4拍子が交互に出てくるが、ドラムスのフィルインは3連になっているため、他のパートは注意しないと小節の頭を見失ってしまう

Free Tempo

D A D A

Vo. Wire And The Wood Wire And The Wood

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

rit. rit.

17 18

B
Gt.

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

15va

Fill

(Gt.)：この部分は全くピッキングせずにプリング、ハンマリング、グリッサンドにより左手のみで弾いているようだ。新たな弦に移る時は、左手で強く押さえて音を出す訳だ。フィンガリングが完全ならば、全く難しいテクニックでは無いはずだ。

DESERT DIAMOND●デザート・ダイアモンド

by S. Vai & G. Bonnet

Copyright © 1985 by DE NOVO MUSIC, SYVY MUSIC & STAR CARR MUSIC
Rights for Japan assigned to WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

《この曲のポイント》

■Guitar

E・シタールのアルペジオが美しい曲だ。シタールとは言っても、シタールのような音の出るエレクトリック・ギターの一種なので、もちろん普通のエレクトリック・ギターで代用することは可能だ。下手にエフェクト処理して、似たような雰囲気の音を作ろうと試みるよりは、ギターならギターらしいクリアな音で弾いた方が美しいだろう。また、この曲ではエレクトリック・シタール、エレクトリック・ギターともに、6弦をD音に下げたチューニングでプレイしているので、フィンガリングに注意したい。

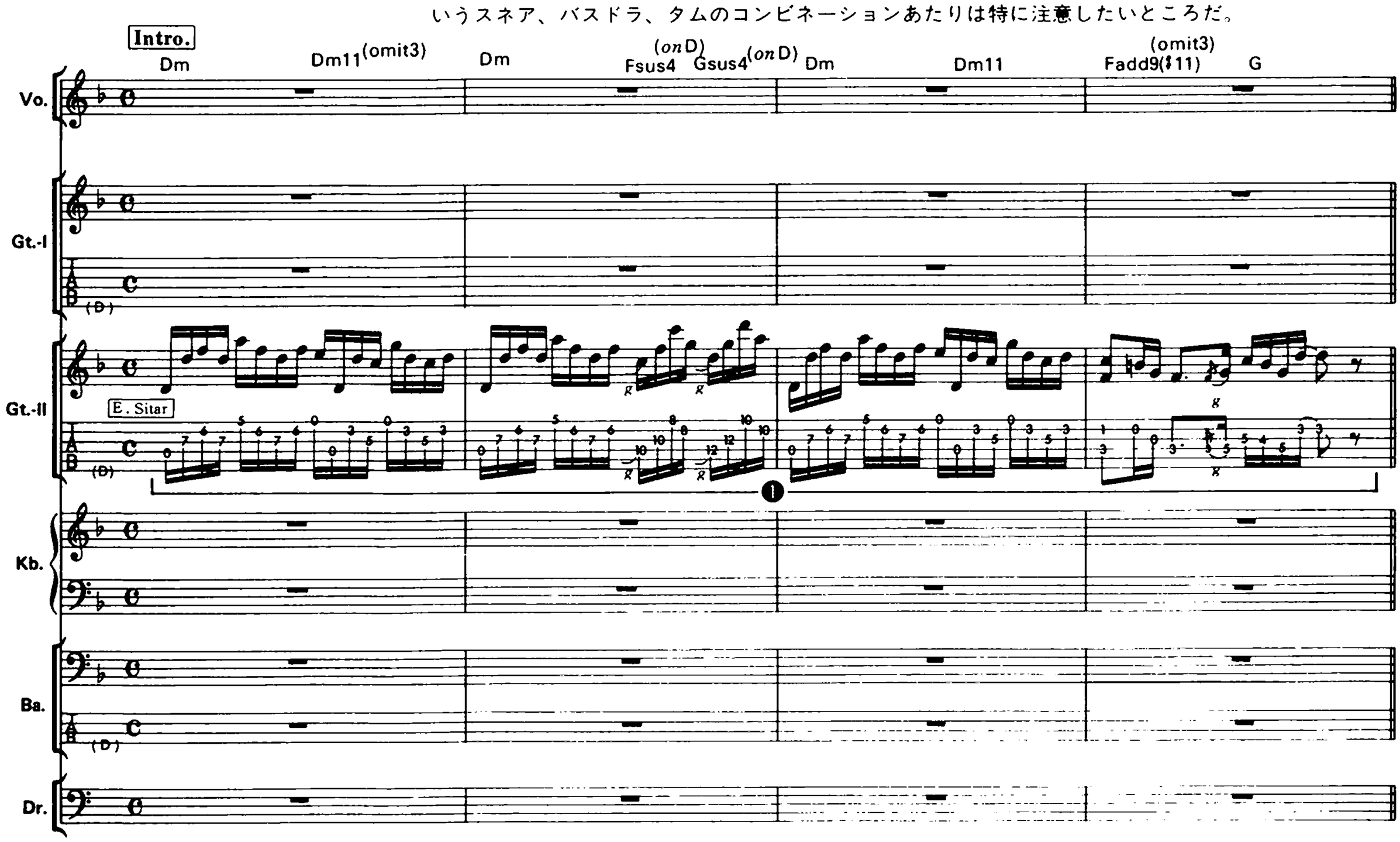
■Keyboard

スロー・テンポのナンバーだけにタイミングには充分注意したい。とりわけストリングス系の持続和音を切る時には、曲全体の流れを的確にとらえた上での、細かな配慮が必要だ。決して走ることなく美しくキメよう。

■Bass

ギターと同様に4弦をD音まで下げてプレイしているが、昨今の音楽シーンにおいては、ベースのこのような変則チューニングは当り前になってきているようだ。一般のフェンダー・タイプのベースに一般のラウンド・ワウンド弦の組み合わせだと、4弦のテンションがかなり弱くなりベースらしい音を出しにくくなってくるので各自色々と工夫してほしい。

■Drums

このようなテンポの曲の場合、ギター等は倍テンポで記譜した方がわかり易いのだが、ドラムスのパターンに従って正規の表し方にしておいた。このアルバムの中では派手目のドラミングだが、ヘヴィ・メタル・シーンの中ではまだまだ控え目だ。バスドラのタイミングがポイントで、"タドタタ"というスネア、バスドラ、タムのコンビネーションあたりは特に注意したいところだ。

❶(Gt.)：大変美しいアルペジオの4小節パターン。
特に1小節目の3・4拍目、4小節目1・2拍目の音使いが素晴らしい。

D.S. time Straight

Dm | Dm11(omit3) | Dm | F(on D)sus4 | Gsus4(on D) | Dm | Dm11(omit3) | Fadd9(omit3)(♯11) | G

D.S. time

A

Vo.

1. Lie in Egyp · tian sands Ethi · o · pian o · ver · lord Roy · al moun · tains stand
2. Eyes of a blind · ed lion saw the age of the Phar-aoh come and re · turn to sand
3. Lie in Egyp · tian sands ___ Ethi · o · pian o · ver · lord Roy · al moun · tains stand

Gt.-I: *1 x tacet*

Gt.-II: *1 x*

Kb.: Synth. 1 *1 x tacet ~*

Ba.: *1 x tacet ~*

Dr.

D.S. time

F△9(omit3) | Dmadd9(omit3) | F△9(omit3) | Dmadd9(omit3) | F△9(omit3) | Dmadd9(omit3) | F△9(omit3) | B♭add9(omit3)

(D.S. time with 2nd Vocal) ~

Vo.

(D.S.) Guard · ian to the Kings sleep in your dus · ty sea Si · lent shin · ing Des · ert Dia · mond Sleep e · ter · nal · ly
Gold and sil · ver gone stripped from your vir · gin stone Still you stand so strong and si · lent Fro · zen by the sun
Guard · ian to the Kings sleep in your dus · ty sea Si · lent shin · ing Des · ert Dia · mond Sleep e · ter · nal · ly

Gt.-I

Gt.-II

Kb.: *~1 x tacet*

Strings 1 *1 x only ~*

Ba.

Dr.

❷(Kb.)：ギターとほぼユニゾンで動くアルペジオ・ターン。“ベル＋パイプ”風の音色を作ってみよう。

❸(Ba.)：4弦がD音のチューニングになっているのに、それを用いずギターとユニゾンでルート＋5thの和音を弾いている。これは次のBのリフの最初⅛D音のインパクトを強めるためだ。なかなか細かい所まで気を配ったアレンジだ。

❹(Gt.)：これも美しいアルペジオだ。⅛と⅜の音がポイント。

❺(Kb.)：重厚なストリングス・サウンド。タイをよく見て、両手を使ってプレイしよう。

Cadd9(omit3)

B

Dm

Gsus4(on F) Gsus4

Vo.

Des - ert Dia - mond (Stone ___ le - o - nine)

Des - ert Dia - mond

Gt.-I

Gt.-II

2 x tacet

2 x tacet

D.S. time

Strings II

Kb.

~1xonly

~1 x tacet

Ba.

Dr.

D.S. time another pattern with Top Cym.

Dm

Gsus4(on D) Gsus4 to Coda

1x

Des - ert Dia - mond (Stone ___ le - o - nine)

Des - ert Dia - mond (Lie ___)

C Dm

F(on D)

Gt.

Synth. II

D.S.

❻(Gt.)：ヴォーカルのラインをフォローする形で2音の和音を使ったリフだ。グリッサンドを多用しているので、そのタイミングには注意すること。

❼(Kb.)：❺と比べて薄い感じのオルガンに近いストリングス。ヴィブラートを深めにスピードはゆっくりとかけ、揺れ動くイメージを出したい。

❽(Ba.)：ヴォーカルの"stone leonine"の部分のユニゾンでフォローする。最低音のD音がヘヴィ曲を更にヘヴィにしている。

G(onD) G7sus4(onD) G(onD) Dm F(onD) Bm9(♭5)(onD) B♭(onD) C

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

D Dm9 F G

Synth. I

(Dr.)：全パートの2小節パターンに対し、ドラムはこのようなパターンをプレイする。4拍目の"タタ"のコンビネーションは意外とスマートにキまるものだ。ジャスト・タイミングを心がけよう。

(Gt.)：全部で4本のギターが入っている。メインになっているのはギター・パートの上声部の1本だ。

⓫(Kb.)：ギターを何台も用意できない場合は、( )内の和音で代用しよう。鋭く伸びのある音で、なるべくギターに溶け込ませるように。

⓬(Gt.)：長3度のチョーキング。1弦のテンションではこれほどスムーズに上がらないはずなので、おそらく2弦だろう。

Dm9 F G

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

Dm9 F G

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

⑬(Gt.)：チョーキング、アーミング、プリング、ハンマリング、グリッサンド等、あらゆるスラーのテクニックを使っている。特にアーム・ダウンや、チョーキング＋アーミングは彼独特のものだ。

⑭(Gt.)：4弦にわたる非常にスピーディなアルペジオのフレーズだ。上行は全てダウン、下行は全てアップでピッキングしよう。

⑮(Gt.)：一定のフィンガリング・パターンでポジション移動していく速弾きだ。この場合は、ほとんどの音をピッキングしているようだ。4拍目ウラの音使いは$D_7^{(\sharp 5)}$を思わせる。

Dm9 F G

Vo. Gt.-I Gt.-II Kb. Ba. Dr.

rit.

cho cho cho cho cho+arm

vib with arm

h+p h+p

arm+cho arm+cho

E B♭△7(13)(omit3) Fadd9(omit3) Am7(on D)

Si - lent shin - ing Des - ert Gi - ant Ethi - o - pian Sons Dia - mond

Strings II Synth. III

(Gt.)：アームでヴィブラートをかけながら左手のフィンガリング・テクニックで音をつないでいく。

(Gt.)：大きく音の飛んだ、いかにもスティーヴらしいフレージングだ。6弦がD音に下がっていることを忘れずに。

(Kb.)：UFOが飛び立つ時のような上昇音を作ろう。
(Kb.)：シーケンサー及びディレイを用い、譜面のような音型をリピートさせる。キラキラとした減衰音で。

STRIPPER●ストリッパー

by S.Vai & G.Bonnet

Copyright © 1985 by DE NOVO MUSIC, SYVY MUSIC & STAR CARR MUSIC
Rights for Japan assigned to WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

《この曲のポイント》

■Guitar

アルバム中、最も親しみやすいアップ・テンポのナンバーだが、ギター・ソロの部分ではS.E.と言ってしまってもいい程のプレイだ。続くシンセ・ソロの部分で少しばかりややこしいプレイをしているのみで、あとはひたすらバッキングだ。しかし、このバッキングのリフがかなり難しいのでトライする価値は充分あるだろう。

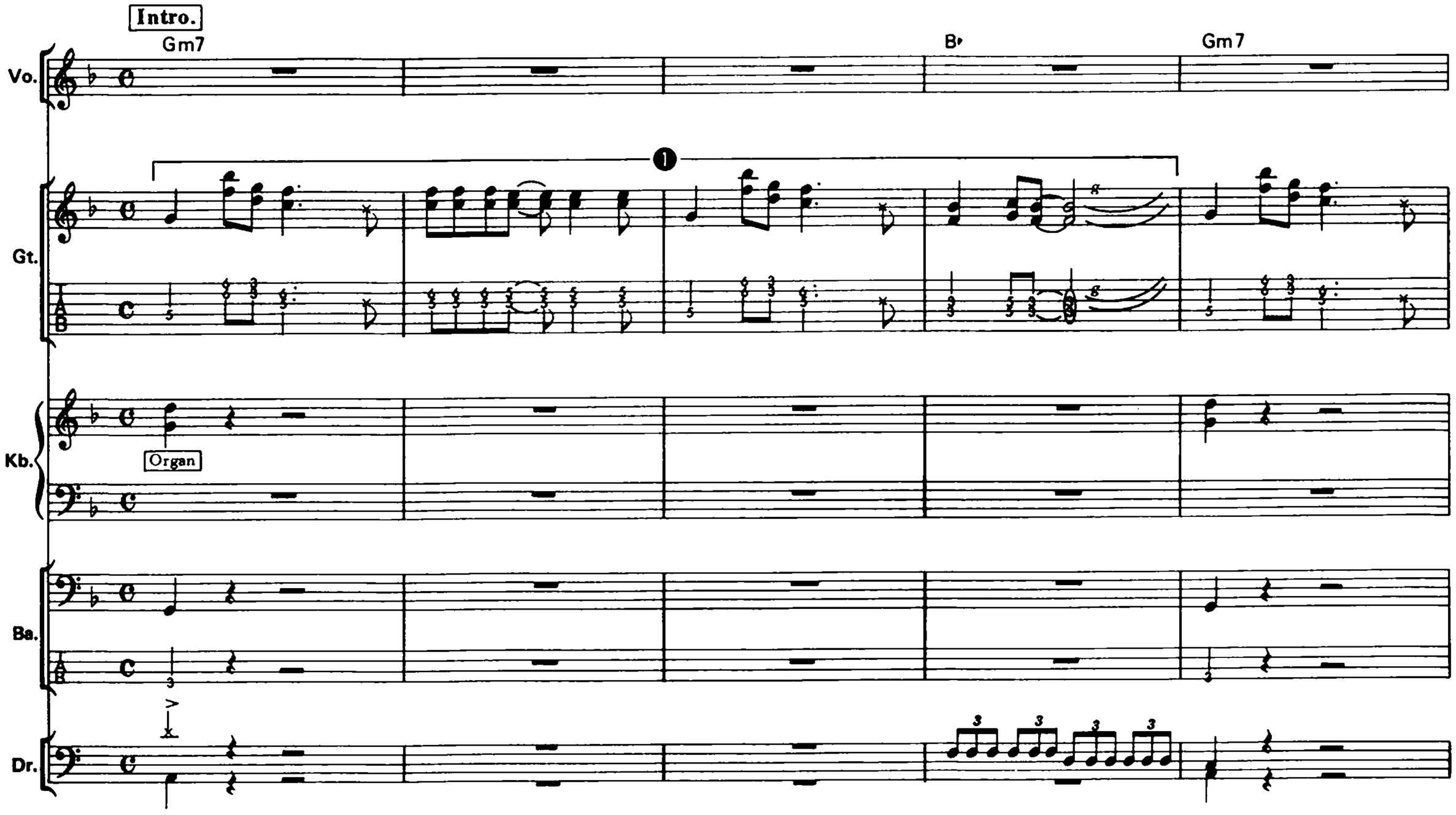
■Keyboard

オーソドックスなハモンド風オルガン・サウンドが主体。パーカッションとオーバードライブを効かせた音作りで、カッコよく迫ろう。またボリューム・ペダルをフルに利用し、曲の流れに応じたメリハリのあるプレイを目指したい。

■Bass

非常に速い曲だ。8ビートだが、とても速いパッセージなのでもたらないように注意すること。リピートしてからもパターンが同じなので、しっかり覚えてキメるところはカチっとキメよう。

■Drums

ハーフ・タイムになるEと、随所のキメ以外は2小節パターンを叩き続けている。ちょうどA-1「ゴット・ブレスト・ヴィデオ」でのプレイと同様だ。同じアップ・テンポの曲だが、こちらの方がよりドライブ感のある、ワイルドなドラミングになっている。

●(Gt.)：それ程難しくはないが、実際に弾いてみるとなかなか格好がつかないと思う。高音弦の和音をまとまりのあるサウンドにするためには不要弦のミュートを完全にすること。

Gm7 B♭ F B♭ F Gm7

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

B♭ Gm7 B♭ F

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

(Dr.)：ポイントでも述べたように、このバスドラ2小節パターンを曲の最後の方まで踏み続けてい

❷(Kb.)：上声を右手、下声を左手で押さえれば楽に弾きこなせるはずだ。

❸(Ba.)：2拍目裏の♭A音は、しっかりミュートすること。♭5の方がミュートはしやすいが、フィンガリングが難しくなるのでミュートのコツを覚えて開放弦を使うようにしよう。

Vo.
Gt.
Kb.
Ba.
Dr.
B♭ F B♭ F B♭ F F♯ Gm7
❸
❶
A
B♭
2x
F
C
As · sem · bled in A dark and crowd · ed room Mex · i · co Warm dark
❺

❶(Gt.)：何気ないバッキング・パターンだが、このテンポではかなり難しいはずだ。

C Gm7 B♭

Vo. beer that's stale No body
Span ish eyes She'll tell you

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

F C Gm7

Vo. seems to care there's more for sale
where to go if you get wise

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

Gm7 B E♭ F

Vo. She walks on the stage
She's your fan · ta · sy

Gt. arm arm g g

Kb.

Ba. 6 8 g g

Dr.

B♭ C E♭ 2x

Vo. Strokes her hips shakes her mane Her
but she won't go too far Oh

Gt. arm arm

Kb.

Ba.

Dr.

❶(Ba.)：このテンポでこのキメは非常に難しい。ドラムスのスネアとピッタリ合わせるように裏をしっかり弾こう。

❷(Gt.)：バッキングでこのようにオクターヴ奏法を用いるのは彼の特徴だ。音が変わる時のポジション・チェンジのなめらかさに注目。

❸(Ba.)：Bの2・6小節目などは特に、右手と左手のタイミングに注意すること。また、4小節目終りのスライドは、5小節目の頭の♭B音につながるように素速く滑らそう。

E♭ F B♭

2x

Vo. sweet cheap per - fume re - minds them but she's why they
she has ___ to be in league with the guy at the

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

D C Gm7

2x

Vo. came ___ Oh ___ She's (the) Strip - per
bar ___

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

B♭ Gm7 B♭ F B♭ F

Vo. She'll strip your soul

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

Gm7 B♭ Gm7

Vo. Oh She's the Strip - per She'll

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

Gm7 B♭ F B♭ F B♭ F B♭ F F♯

Vo. eat the whole whole whole

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

1. 2. Fm 4 times Repeat

Gm7 D Fm Fm Gm

Vo.

Gt. 8va 9

Kb.

Ba.

Dr. 2x

●(Gt.)：ここはもう一本ギターが重ねてあり、上のパートのギターはコードの5 thと3 rdを上手く使い弾けたラインになっている。ギターが1本のバンドだら、ルート＋5 thの省略コードで通してしまって弾まわないだろう。

Gtm Ftm Gtm A B 1. A

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

A Gtm A A Gtm A A Gtm

2. 3.

arm arm arm arm

4.

F♯7(♭5,♯9)(on A)

E E♭

D♭m

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

E♭

B

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

E♭ D♭m E♭

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

B F B♭

Gt.

8va bassa

arm

arm

●(Gt.)：アームを多用した勢いだけのソロ。ここは弦やフレットをあまり気にせず、フィーリングでプレイしてみよう。

Vo.
Gt.
Kb.
Ba.
Dr.
B
B♭
B
cho+arm
arm
arm
cho+arm
arm
arm
B♭
B
arm
arm
8va
arm
arm

B♭ B G A♭

Vo.

Gt. *with Harmonizer ~* *cho* *cho* *H+P with Right Hand*

Kb.

Ba.

Dr.

D♭ G♭

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：シンセのソロと思われるが、ギターもほぼユニゾンで弾いているようだ。ここでのプレイは、ライト・ハンドを使っていると思われる。

●(Kb.)：シンセで"クラビ＋オルガン"風の音を作ってもよいが、これまでと同じオルガンでかまわない。低い音は左手で取るようにして、テンポにのったリズミカルなソロを展開しよう。軽くリバーブをかけると音に輝きが出るはずだ。

G♭ F N.C.

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

H Gm7

Gt.

Oh

B♭ Gm7 B♭ F

Vo. Stroll back Come in Ah

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

3 times Repeat

B♭ F Gm7 B♭

Vo. Stroll

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

Gm7 B♭ F B♭ F B♭ F C

Vo. Come on 3x rit. I (Talk)

Gt.

Kb.

Ba.

Dr. 1x,2x rit.

B♭ A C Gm

Vo. Stroll

Gt. 8va arm arm arm arm arm arm

Kb.

Ba.

Dr. Fill

(Ba.)：ドラムスのフィルが終ってから、イン・テンポで入るスネアをよく聴いて、弾きそこねないようにエンディングをキメよう。

LIGHTER SHADE OF GREEN●ライター・シェード・オブ・グリーン

by S. Vai

Copyright © 1985 by DE NOVO MUSIC & SYVY MUSIC
Rights for Japan assigned to WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

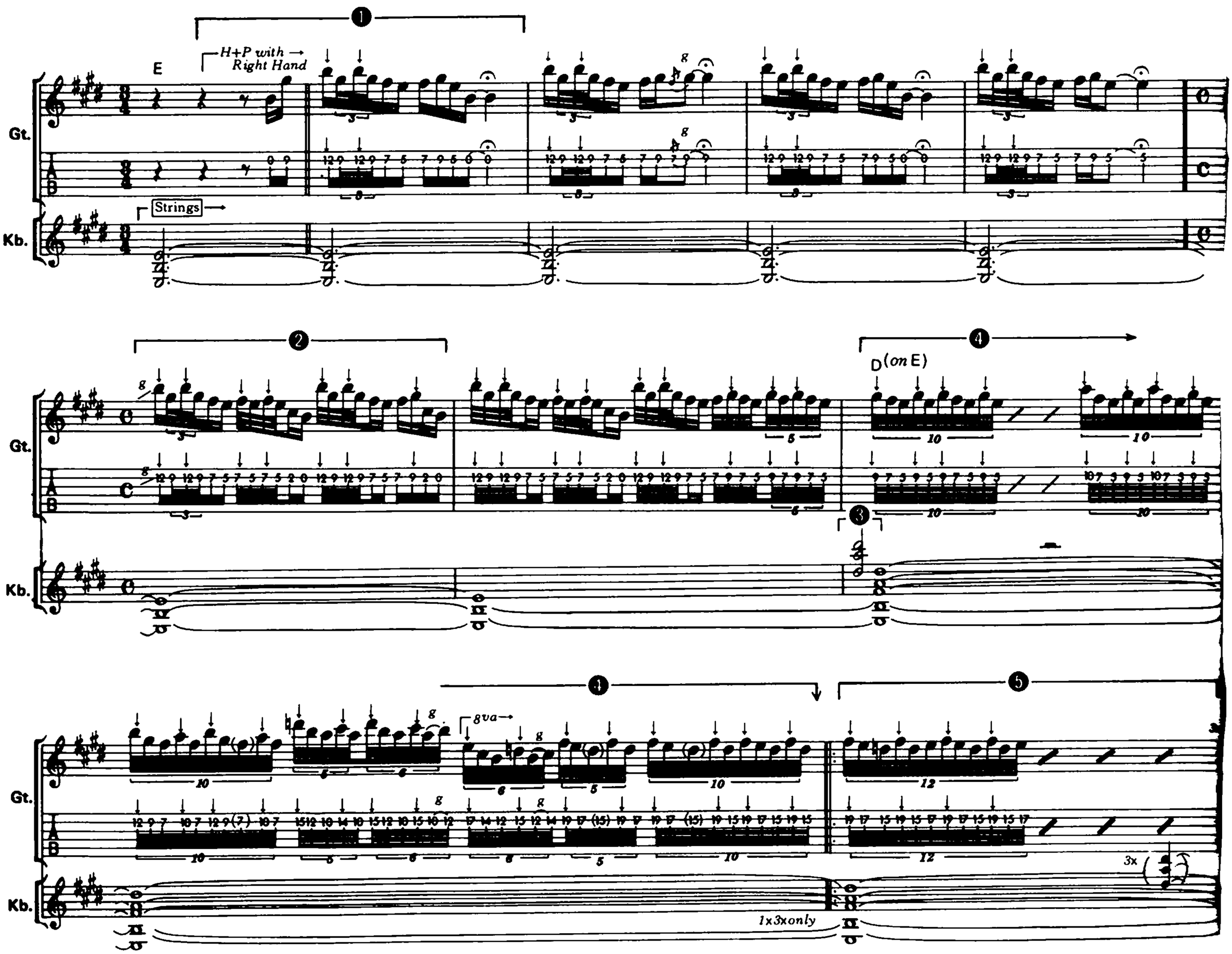
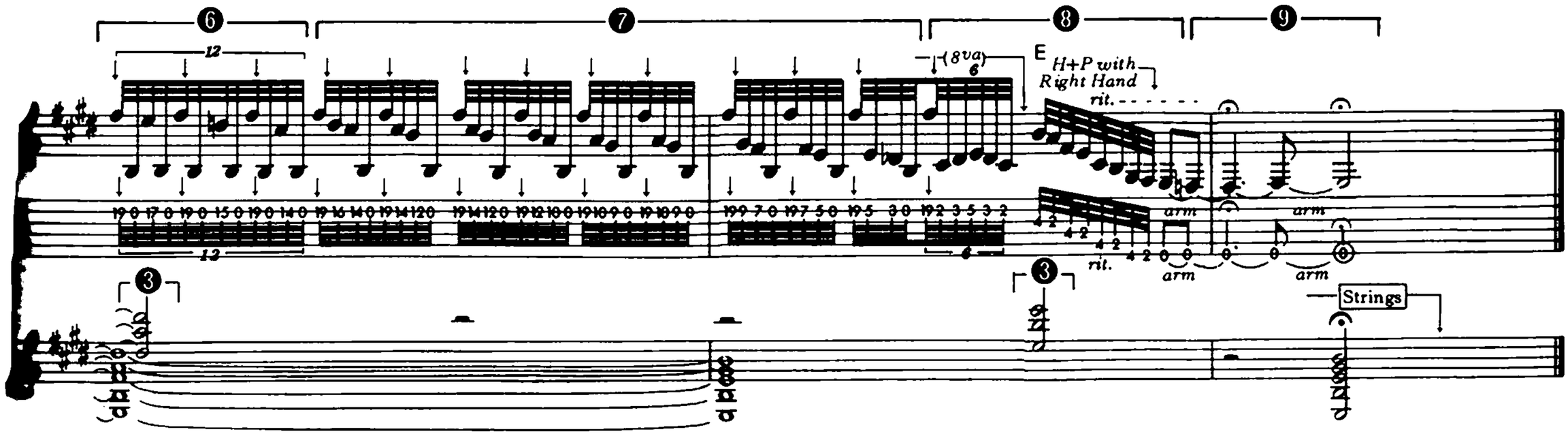
《この曲のポイント》

■Guitar

ギター・ソロの小曲。シンセが薄くフォローしているが、ギター1本だけでもディレイ等の空間処理で充分形になるだろう。ホールドのできるデジタル・ディレイがある時は、%E音を演奏中にずっと鳴し続けておけば、更に雰囲気がでる。

ギター・プレイは最初から最後まで一度もピッキングせず、ハンマリング、プリング、ライト・ハンドによるタッピングのみで通している。

■Keyboard

牧歌的なソロ・ギターを陰でがっちりと支えるストリングス。倍音構成豊かで重厚なサウンドを出してほしい。ディレイやコーラスの使用で奥行きとうねりが演出できればベストだ。



❶(Gt.)：一番最初の⅘はピッキングするのではなく、左手の指先によりプリングの要領で出す。⅗、⅘、⅘は順に1、2、4指で押弦。隣接した1・3弦の音を出さないように注意しよう。

❷(Gt.)：冒頭の音は右手の指先でグリス・アップしている。1・3拍目は❶と同様のフィンガリングだが、2・4拍目では⅖、⅗を1・4指のポジションに移動している。

❸(Kb.)：この番号をつけた3ケ所のみ、パイプ系のキラキラとした高音でプレイする。その際、手が足りなければストリングスの高音部を省略してもかまわないだろう。

❹(Gt.)：5連のワン・モチーフをくり返すが、( )内の音は弾くつもりが出なかった音と思われる。グリッサンドは5連のモチーフをキープするつもりが、ポジション移動のためにグリッサンドになってしまった音だ。

❺(Gt.)：6連ワン・モチーフをくり返す。❻では5連とは言っても、6連の♫のタイムに近かったので、タッピングのタイミングをここで急に変える必要はないだろう。

❻(Gt.)：右手、開放、左手開放の順に音を出すわけだが、これは並の練習では弾けないだろう。

❼(Gt.)：右手、3指、1指、開放の順に音を出し、1・3指をポジション・ダウンしていく。

❽(Gt.)：右手は使わず左手のみで音を出していく。

❾(Gt.)：6弦開放E音をアーム・ダウンして、正確なD音に落ち着かせたあと、再び元に戻す。

SONS AND LOVERS●サンズ・アンド・ラヴァーズ

by S. Vai & G. Bonnet

Copyright © 1985 by DE NOVO MUSIC, SYVY MUSIC & STAR CARR MUSIC
Rights for Japan assigned to WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

《この曲のポイント》

■Guitar

ミディアム・テンポのナンバーなのでバッキングのリフはそれ程難しくはないし、ギター・ソロも比較的手数の少ないオーソドックスなものなので、アルバム中、最もプレイしやすい曲ではないかと思われる。Ⓒ やⒺではバッキングに彼が得意とするオクターヴ奏法が多用されているが、これをいかにスムーズにクリアするかがポイントになってくるだろう。この辺の音の動きは、ベース・ラインを思わせるもので、ちょうどテナー・ベースのような役割りをしているようだ。

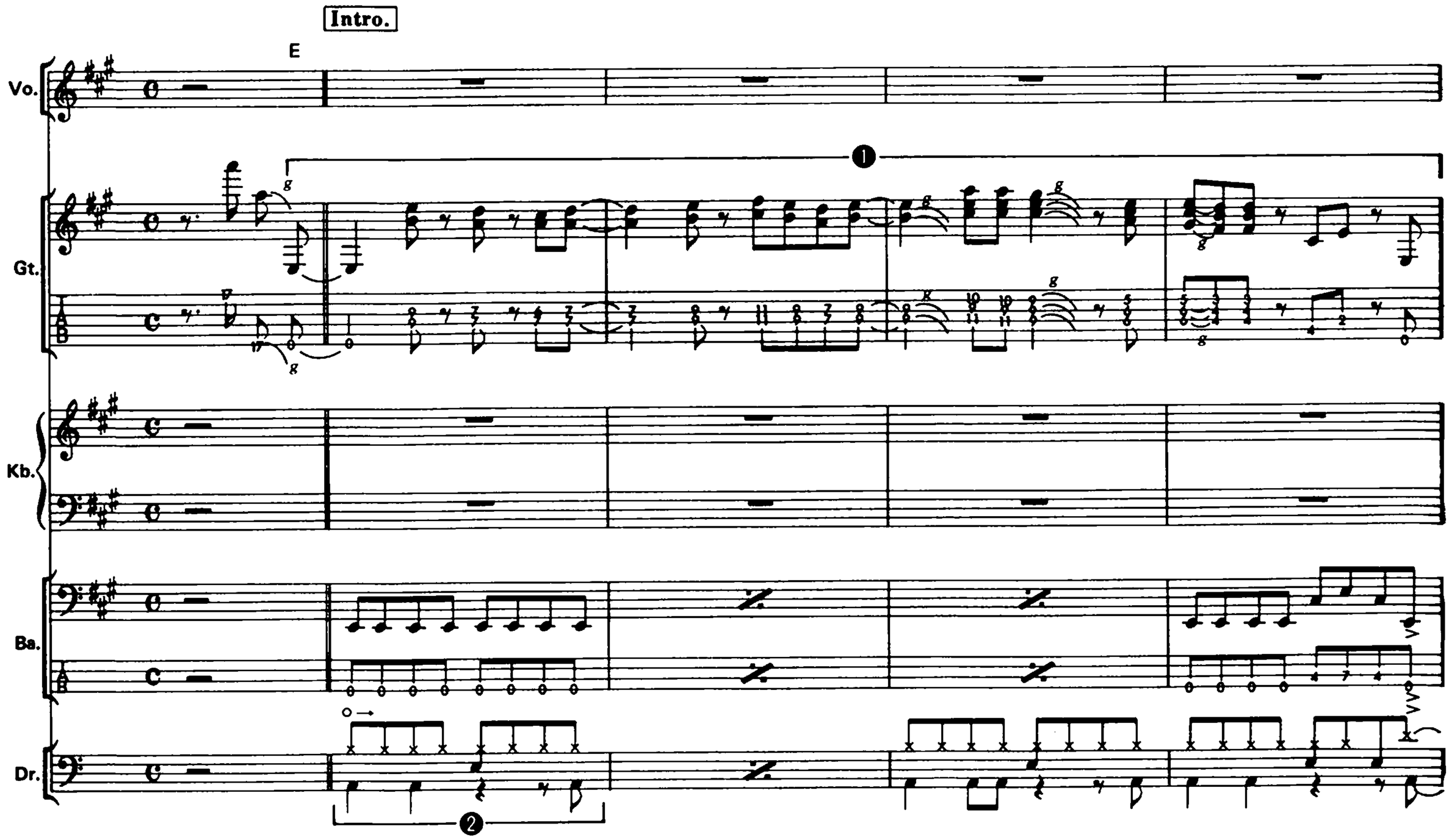
■Keyboard

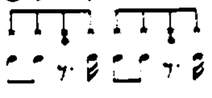
ポップな曲調に合わせ、音色もプレイも軽やかに。ストリングスはオルガン系の音を混じえ、高域を強調した音色で迫りたい。またⒹのシンセ・ソロでは"マリンバ+バイブ"風の音色でスタッカート気味にプレイしよう。

■Bass

ルート音の8分弾きが主体になっている。最もオーソドックスなリズム・パターンの1つだが、テヌートで弾くかスタッカートで弾くかによって全く雰囲気が違ってくるので、ニュアンスの違いを考えてプレイしよう。4小節パターンになっている部分は4小節目でノリが途切れないように注意すること。

■Drums

この曲もノーマルとハーフ・タイムの組み合わせになっているが、テンポがそれ程速くないのでハーフ・タイムになった時、変に間伸びしないように注意したい。ノーマルの時はシンプルかつオーソドックスな8ビートのドラミングを心がけよう。

❶(Gt.)：4小節パターンのリフだが、3小節目のコードの動き(A(onE)からEへ)、3～4小節目にかけてのコードの動き(C♯m(onE)からBm(onE)へ)が、サウンドを垢抜けたものにしている。コード・ネームは全体でEとして表記した。

❷(Dr.)：ハーフ・タイムのパターン。2小節で

というパターンになる訳だ。

E　　D　　E　　A　　A

Vo.

One more ho - tel it's

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

3

4

F♯m7　　A(onG)　　A　　F♯m7

Vo.

twelve o' - clock we're check-ing out Still con - fused and slow to move to

Gt.

h+p　　h+p　　h+p　　h+p

3

Kb.

Ba.

Dr.

Ba.)：4小節パターン。ややもすると単調になりちなコード、テンポ、曲想だが、4小節の中で多に色々動きのある音使いをしているため、生き生としたサウンドになっている。

❹(Dr.)：ここからノーマルのタイムになる。

A(onG) A 2x F♯m7 A(onG)

Vo. get on the bus The driv - er keeps that Mem - phis smile for his good old boys
not just one more show we know it's got - ta be right

Gt. h+p h+p h+p h+p 4 4 2x only ~ 2x only ~

Kb. Strings →

Ba.

Dr.

2x A F♯m7 A(onG)

Vo. He's load - ed them up and heads them out in to the void So we drive
We work the songs then kiss the road a warm good night

Gt. h+p h+p h+p h+p g g

Kb. 5 Synth. I

Ba.

Dr. 2x 2x

❺(Kb.)：クラビあるいはエレピ系のキンキンした音でシャープな切れ味を演出したい。

B E

and trucks
Chorus

2x Kill we make

Vo. pass those trail · ers and trucks Woo Ooh Yeah We · 'll make good time

Gt. 8va

Kb.

Ba.

Dr.

(D.S. time Straight)

kind of luck D E C A D

Vo. with some kind of luck some kind of luck An · oth · er vic · to · ry

Gt.

Kb.

Ba.

Dr. 3x 2x

●(Gt.)：1・3弦を用いたオーソドックスなオブリ■ートだが、彼の手にかかるとコケティッシュに聴こえるのが不思議。グリッサンドのニュアンスと、■特のギター・サウンドのためであろうか。

●(Kb.)：コーラスのサポート用。音色はストリングスよりもアコースティック・ピアノ系の方がよいだろう。

Bm7 E Bm7 E D

Ah Ah Ah Ah Ah Ah Ah

Vo. for Song And Lov - ers You gave us the pow - er You gave the

Gt. 2x 2x

Kb. 2x 2x 2x 2x

Ba.

Dr. 2x 2x 1x

to

E Ah 2x D F C(onG) F

Vo. pow - er It's

Gt. cho cho p cho cho p picking harm arm picking harm arm arm p g arm p g

Kb. 2x Synth. II

Ba. 2x 2x

Dr. 1x 2,3x

❽(Gt.)：得意のオクターヴ奏法によるバッキングだ。他曲でも述べたが、ポジション移動のなめらかさはまるでフレットレスのようだ。弦を変えることは少ないので、タイミングさえ気を配ればクリアできるだろう。

❾(Dr.)：再びハーフ・タイムになるので注意。

C(on G) F C(on G) F

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

C(on G) E D E

(8va) 8va arm

D.S.

(Gt.)：このように通常のフレージングの途中で、ライト・ハンドが出てくるのも彼らしいところ。いかにもライト・ハンドというような間がないし、スムーズに溶け込んでいる。

(Gt.)：このハーモニクスは弦の全長の6分の1の点に触れると出るもの(つまり6倍音)だ。3フレットの真上ではないので、ポイントを熟知した上でプレイしないとこの音は出ない。

Coda

Chorus

E A D Bm7 E

Vo. Just one more vic · to · ry — We got the cov · ered — Ah Ah Ah

Oh sons And Lov · ers —

Gt. 3x cho 2x

Kb.

Ba.

Dr.

Bm7 E D E

Vo. Ah Ah Ah Ah

You gave us the pow · er — You gave the pow · er —

Gt. 2x 2x arm

Strings

Kb.

Ba.

Dr. Repeat & Fade Out

SKYFIRE ●スカイファイア

by S. Vai & G. Bonnet

Copyright © 1985 by DE NOVO MUSIC, SYVY MUSIC & STAR CARR MUSIC
All rights for Japan assigned to WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

《この曲のポイント》

■Guitar

爽やかなイントロから一転してアップ・テンポのヘヴィなリズムに変わる。このイントロのサウンドも、アルバムの中で印象に残るものだが、正に縦横無尽と言った感じのギター・プレイは圧巻だ。特に複数のギターの音を重ねているところや、アドリブ・ソロ後半のハーモナイザーの使い方等が素晴らしい。Eの部分では、ギター2本とベースによるハーモニーが面白いアイディアだ。

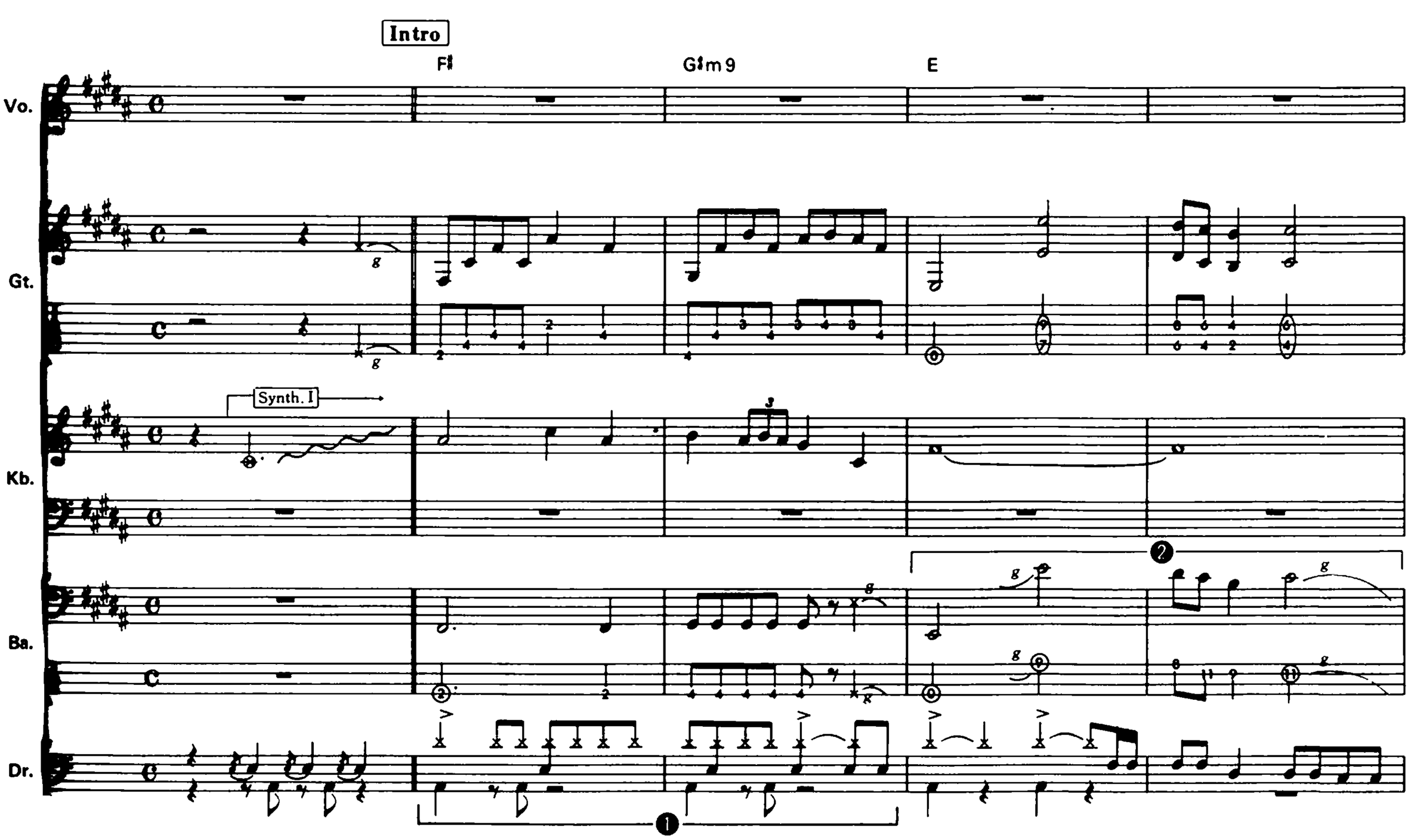
■Keyboard

中心となるのはオルガンだが、イントロ部のリードはストリングス系の音に多少ポルタメントを効かせて、格調高く迫りたい。オルガンはハモンド風の音で、あまりエフェクトを効かせず、ストレートな音色設定がよいだろう。

■Bass

ほとんどがギターのリフとユニゾンになっている。したがって、16ビート・ピッキングの部分など正確に弾かないと聴きづらいものになってしまうだろう。

■Drums

Intro、C、D、はハーフ・タイムのパターンで、その他はノーマルだ。この辺の気持ちの切換えや、途中の4分の3拍子等ドラマーにかかる責任は意外に大きい。𝅘𝅥𝅮 𝄾 𝅘𝅥𝅮 𝄾というリズム・パターンのバスドラが多用されているが、特に1・3拍の16分のタイミングが大きくノリを左右するのでタイトにまとめてほしい。

(Dr.)：ハーフ・タイムのパターン。伸び伸びと叩いてほしい。

❷(Ba.)：⅛は中指でグリス・アップすれば次の小節もスムーズに弾けるはずだ。他のフィンガリングもいくつか考えられるが、⅞のグリス・ダウンをするためには、このポジションがベストだろう。

F♯ G♯m9 C♯m11 C♯m(on E) F♯7(on E) G♯m9

Vo.

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

3 4

A G♯m7 C♯(on G♯)

Just one more
As the beach

Synth. 1 Organ

❸(Gt.)：(♭3rd)と(9th)という半音でぶつかる音を重ねているため、とても美しい響きになっている。もう一本のギターとベースのG♯音とでG♯m9(omit5)というコードになる訳だ。

❹(Gt.)：オルタネイトの16ビート・ピッキングで、ドライブ感を出すように心がけて弾こう。

❺(Dr.)：ここからノーマルのタイムになる。♩♪のバスドラのタイミングに注意したい。

G♯m9 C♯(on G♯) G♯m7 C♯(on G♯) G♯m9

Vo. of turns those an eigh · ty om · i · nous two nights green We Bathed were by all light cow · boys from the

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

C♯(on G♯) E(on G♯) F♯(on G♯) E△7(on G♯) F♯(on G♯)

Vo. ready — to ride shape in the sky Fire We the all gun tanned turn in your a eyes to the sea new kind of sun

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

●(Kb.)：好みに応じてストリングスでも同じ和音を
なぞらせれば、より重厚なサウンドが得られる。

E(on G♯)　F♯(on G♯)　E△7(on G♯)　F♯(on G♯)　𝄋 (D.S. time Straight)

Vo.　2x　B　G♯madd9

Through that night　rid · ing your trig · ger with me　Your lo · cal
Some · thing's wrong　we're get · ting ready to run　Your lo · cal
Your lo · cal

Gt.　g　g　0 3 0 3 0　7

6

Kb.

8

Ba.

Dr.　+→

B　C♯　G♯madd9　E△7　G♯madd9　B　C♯

Vo.

sta · tion　gives out the news　The sky is　burn · ing
sta · tion　knows what to say　It's just a　fuel burn
sta · tion　screams out the news　The sky is　burn · ing

Gt.　g　cho cho　cho arm　cho cho　cho arm　0 0 0 3 0　12 12 12 9 11 9 11　0 3 0 3 0　g

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：シンプルなリフだが、(♭3rd)と(9th)の響きを利用しているため、音数の割には広がりのあるサウンドになっている。

⑧(Ba.)：前の小節からなだれこれでくるため、2・3・4拍の4分音符は短かくなりがちだ。充分テヌートして弾くこと。

G♯madd9 E△7 1. G♯m9

Vo. in Ma - li - bu / so it's O K / in Ma - li - bu

Gt. 2x arm 2x arm

Kb. 2x tacet

Ba.

Dr.

2. 3.

G♯madd9 B C♯ G♯madd9

Vo. Please hold the phone calls / Please hold the phone calls There's no more / There is no

Gt. g g

Kb.

Ba.

Dr.

E△7 G♯madd9 B C♯ G♯madd9 to ⊕ E

Vo. 2x news need for a · larm It's just a Sky · fire It's just a Sky · fire in Ma · li · bu 2/19 C Vocal Gt. 8va

addtional Gts arm

Gt. arm arm

Kb. 2x Organ

Ba. 9 g g

Dr. 10

E F♯madd11(on E)

Vo. 1/16 1/18 1/16 2/19 g 1/11 1/12 p 1/11 1/9 2/12 1/19 2/19 g 2/7 2/9 arm

Gt.

Kb.

Ba. g g g g g g

Dr. 10

❾(Ba.)：ここで使われているグリッサンドはあまり派手にならないようにすることがポイントだ。

❿(Dr.)：再びハーフ・タイムになるので感覚の切換えをスムーズに。

F♯madd11(on E)

D

F♯

G♯m

E

Vo.

2/9 arm 2/7

arm

Pros to con from dip · lo · mats li · ars

Gt.

tremolo

tremolo

g

Kb.

Ba.

tremolo

tremolo

Dr.

F♯

G♯m

E

Vo.

li · ars Words design · ed to tran · quil · ize fight · ers fight · ers

Gt.

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：普通にコードを押さえておいて、そのうち●2本を選んで弾いた、という形のリフ。何でもないアイディアだが、応用がきくので自分なりに使ってみよう。

E C♯m Bm

Vo.

Gt.

12

Kb.

13 Synth. II

Ba.

Dr.

A D♯

Vo.

Gt.

12

8va arm

Kb.

13 Synth. II

Ba.

Dr.

●(Gt.)：ギター2本で、一方がそれぞれのコードのルートを他方が5 thを弾き、ベースはその間の3 rdの音を弾く、という面白いサウンドだ。ギターは1本でルート＋5 thを弾いてしまってもかまわないだろう。

●(Kb.)：エレピ系のパーカッシヴな音色で。ディレイ・タイムを⅓拍分に設定してディレイをかけること。

D♯

Gm9

Gt.

Vo.

Gt.

Synth. 1

Kb.

Ba.

Dr.

F G♯m7 C♯(on G♯) G♯m9 C♯(on G♯)

Vo.

Gt.

arm

cho p g

p+h

Organ

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：この4小節余りのパッセージで、ピッキングはたったの4回だけだ。あるいは頭の¾のみピッキングして、あとは全てスラーでつないでいるとも考えられる。

G♯m7 C♯(on G♯) G♯m9 C♯(on G♯)

Vo.

Gt.

cho+p cho+p cho cho+p g 8va → arm arm arm with Harmonizer ~ h

Kb.

Ba.

Dr.

G♯m7 C♯(on G♯) G♯m9 C♯(on G♯)

Vo.

Gt.

(8va) p p p p+g h h 8va → h h g p cho p ~ with Harmonizer cho cho

Kb.

Ba.

Dr.

⓯(Gt.)：左チャンネルから聴こえる音が原音で、右チャンネルはハーモナイザーによる4度上の音だ。スラーを多用しているのでピッキングの方はそれ程キツくない。

⓰(Gt.)：ここもハーモナイザーをかけているが、全ての音をピッキングしている。3/3、2/2、1/1、は全てダウン・ピッキングで、左手の押弦とタイミングを合わせて和音にならないように注意すること。

G♯m7 C♯(on G♯) G♯m9

Vo.

Gt. *cho* *cho+p* *with Harmonizer ~* *p*

Kb.

Ba.

Dr.

C♯(on G♯) Gt.

Vo. *~ cho* *~ gva* *g*

Gt. *cho*

Kb.

Ba.

Dr.

D.S.

Coda

E F♯ G♯m

Vo. burn · ing —— in Ma · li · bu

Gt. *g*

Organ

Kb.

Ba.

Dr.

●(Gt.)：実にユニークなフレージングだ。2/17、3/6をチョーキングするところに注目してみよう。

BREAKING THE HEART OF THE CITY ●ブレイキング・ザ・ハート・オブ・ザ・シティ

by S.Vai & G.Bonnet

Copyright © 1985 by DE NOVO MUSIC, SYVY MUSIC & STAR CARR MUSIC
Rights for Japan assigned to WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

《この曲のポイント》

■Guitar

この曲では何と6弦をC音まで下げた変則チューニングのギターが使われている(当然それにともない6弦のゲージは太いものを使っていると思うが)。そのため、特に最低音のC音は単音で一発鳴らしただけでも相当の迫力。しかし6弦のフィンガリングが通常と変わってくるため、充分習熟しておかないと簡単にミスってしまうだろう。

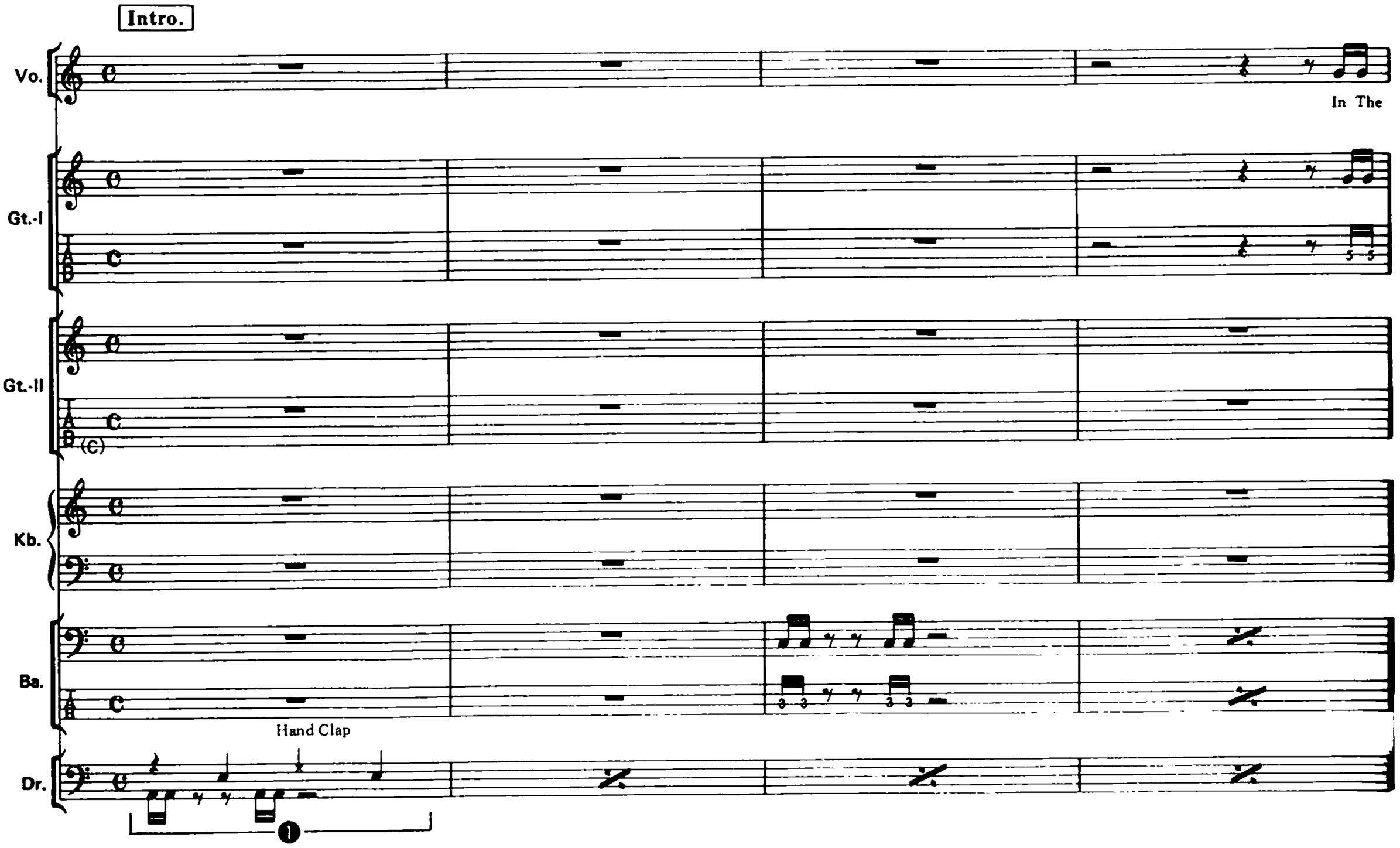
■Keyboard

神秘的なイメージをエキゾチックに演出するためにも、重厚なストリングスを前面に押し出したい。多少ヴィブラートでピッチを揺らし、アタックを遅めに設定するように。左手もきちんと譜面通りにプレイしよう。

■Bass

この曲では4弦だけチューニングをC音に下げてプレイしているが、普通のベースでこういうチューニングをするとかなり無理があるので、通常のチューニングでプレイできるように若干アレンジしてある。スロー・テンポでこのようなフレーズをキープするのは意外と難しいものだ。突っこみ気味になりやすいので注意すること。

■Drums

3拍目16分喰いのオーソドックスなシンコペーションのパターンを叩き続けているが、シンコペーション直後、3拍目頭のハンド・クラップが非常に効果的で、従来にない新鮮なリズム・パターンのように聴こえてくるほどだ。

❶(Dr.)：3拍目16分喰いのパターンだが、シンバルを使っていないので音の切れがよりヘヴィな雰囲気を盛り上げている。こうしたパターンも難なくタイトに叩いているあたりからも、柔軟なドラマーだということがわかるだろう。

(Chord 2x)

A (Chorus 2x only)

C Dm(onC) B♭(onC) C Em(onC) C Dm(onC) B♭(onC) Dm(onC)

Vo. Lon · don rain the sun ___ called / look down on the New ___ York / Go ___ West / sky · line / The A · mer · i · can loves the way you speak / There's some · one wait · ing for you among ___ the crowd / En · glish / And they / He

Gt.-I 2x only → / 2x / cho

Gt.-II 2x only → / g / cho

Kb.

Ba.

Dr.

Dm(onC) F(onC) C B♭(onC) Dm(onC) B♭(onC) C

Vo. watched you grow · ing as their son / wants to be just like you / for so long / he wants to be a friend to you / How they long to em · brace you / Reach in · side and / tell you / just / This is home / be ___ part ___ of you

Gt.-I arm / cho / g

Gt.-II g / arm

Kb.

Ba.

Dr. 2x 2x

❷(Gt.)：1回目はヴォーカルとユニゾンのメロを弾いているが、同弦上を一定の指で押弦し続けて（つまりグリッサンドしながら）いる。これにより非常になめらかに音がつながっている訳だ。彼は押弦する指を真っすぐ伸ばした感じの独特なフォームでここを弾いている。

❸(Gt.)：リピート後のみだが、ヴォーカルの4度下のラインをGt. Ⅰと同様に弾いている。ヴォーカルとGt. Ⅰがユニゾンでルートを、コーラスが3rd、Gt. Ⅱが5thという音の重ね方でトライアドを形成しながら進んでいく。コード・ネームはリピート後を表わしている訳だ。

B

1.

N.C.

C B♭ C B♭

Vo.

Be-lov-ed for-eign-er this your A-mer-i - ca Wants you to stay for - ev - er

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Strings

Strings

Ba.

Dr.

N.C. C B♭ C B♭

Vo.

Be-lov-ed for-eign- er this your A-mer-i - ca Wants you to stay for - ev - er

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

4

4

4

N.C.

2.

E♭△7(♭5)

Vo.

As you

He saved the pho-to- graphs

Gt.-I

Gt.:I,III,IV

8va

Gt.-I only

4

Gt.-II

5

Kb.

Ba.

h

h

Dr.

F6

C

B♭

Cadd9

B♭add9(♯11)

Vo.

he read the mag-a-zines

Mak-ing you part of the ci-ty

Gt.-I

cho

Gt.-II

5

6

Kb.

Ba.

Dr.

❹(Gt.)：コーラスとギターが入り乱れて聴き取りにくいのだが、どうやらギターは3本でメロを弾いているようだ。タブ譜には一番上のパートのみ示しておいた。

❺(Gt.)：よほど太い弦をはらないと、6弦はテンションが弱くユルユルになってしまう。その状態で強くピッキングすると簡単にピッチが上がってしまうので注意しよう。

❻(Gt.)：大変よくできたリフだ。5/6のC音と5/5、5/3のCのコードとの使い分けがポイントだ。5/5、5/3の時に決して5/6の音が鳴らないように注意すること。

E♭△7(♭5) F Gm(*on* F) B♭(*on* F) C B♭

Vo. Be-lov-ed for-eign - er ___ some-one to cru - ci - fy Break - ing The Heart ___ Of The

Gt.-I *cho* *cho* *cho* *cho*

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

C B♭ D E♭ E♭ F

Vo. Ci - ty ___ Oh

Gt.-I ~ Gt.- I,II,IV ~ Gt.- I *only* *cho*

Gt.-II 4

Kb. Strings Organ 7

Ba.

Dr.

❼(Kb.)：パーカッションの効いたオルガン・サウンドでギターとユニゾンのリフをキメる。両手を使えば楽に弾きこなせるだろう。

❽(Gt.)：短３度のチョーキング。ピッチを正しく合わせるように。

❾(Gt.)：頭の$\frac{3}{32}$のみピッキングして、そのあとの音はアーム・アップの勢いで音を出す。素速いアーム・アップをすれば、それだけで音が出るものだ。

C N.C.

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

8va cho cho cho g

arm

8va bassa

D Cm7

C7sus4

In

Strings

⓫(Gt.)：これもよくでてくる突然に入るライト・ハンド奏法だ。

⓬(Gt.)：3弦開放の8倍音を使ったものだ。ハーモニクス・ポイントは3フレットの真上よりは少し4フレット寄りだ。少しでもズレると全く音にならないので注意したい。

⓭(Gt.)：このようなフォームで1オクターヴ上の音も同時に出しているようだ。通常のチューニングでは滅多に出てこないフィンガリングなので少し練習が必要だろう。

D(on C)　Dm(on C)　D(on C)　Cm△7　B♭(on C)　D♭(on C)　B♭(on C)

Vo.　the　In　the

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

Cm△7　Cm7　F(on C)　D　E♭

Vo.

Gt.-I

Gt.-II

Organ

Kb.

Ba.

Dr.

●(Dr.)：符点8分からモチーフを2回くり返したフィルイン。つまり♩.♫♫のリズム・パターンにのせたフィルということだ。

E♭ F E F(on C)C B♭(on C) F(on C)C B♭(on C)

Vo. In the Lon · don rain the sun ——— called Go ——— West The A ·

Gt.-I

Gt.-II

Organ Strings

Kb.

Ba.

Dr.

B♭(on C) F(on C)C F(on C)C E♭

Vo. ·mer·i·can loves to hear ——— you speak En · glish He took your au · to·graph ———

arm arm

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

●(Kb.)：ここからは原曲のコーラス・パートもストリングスでカバーする。

F C B♭ C B♭

Vo. Spit out the mag · a · zine Break · ing The Heart Of The Ci · ty

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

C B♭ C B♭ C B♭

Vo. Break · ing The Heart Of The Ci · ty Break The Heart

Gt.-I

Gt.-II

Kb.

Ba.

Dr.

Vo.
Gt.-I
Gt.-II
Kb.
Ba.
Dr.

B♭ C B♭ C B♭ C B♭

Break The Heart Break · ing The Heart Ci · ty

C B♭ C B♭ C B♭

Break · ing The Heart Of The Ci · ty Break The Heart

11 Strings

Strings